

平成28年度

福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査業務報告書

(平成27年度実績)

平成29年3月

福 島 県

目 次

第1章 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査の内容	1
1.3 各報告書の報告状況	2
1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理	3
1.5 調査に関する基本的な事項	6
第2章 調査結果の概略	9
2.1 平成27年度の産業廃棄物の排出状況	9
2.2 平成27年度の産業廃棄物の処理状況	12
2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況	15
2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況	16
2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果	17
2.6 東北地方太平洋沖地震及び大津波による産業廃棄物の排出量の経年変化	20
第3章 産業廃棄物処理業者の実績	23
3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要	23
3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理	27
3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分	33
第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績	39
4.1 多量排出事業者等における報告状況	39
4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性	41
第5章 産業廃棄物の処理状況	44
5.1 再生利用状況	44
5.2 最終処分の状況	47
第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析	50
6.1 データ整備等の内容	50
6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況	51
6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成	53
参考データ	55

第1章 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、平成27年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書を基に、福島県における平成27年度の産業廃棄物の排出等実態を推計し、平成27年度の排出・処理を解析することにより、県内の産業廃棄物の排出抑制及び適正処理の促進に活用することを目的とした。

1.2 調査の内容

1 報告書データの電子化及びデータの整理

平成27年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（郡山市、いわき市分を含む。）の電子化を行った。

電子化された各書式の記入内容のチェック、各様式間における整合性のチェックを行い、記入不備等のデータの整備を行った。

2 産業廃棄物の物流情報の整理、分析

1.2.1のデータを基に、平成27年度における福島県の産業廃棄物の排出及び処理情報（県外からの移入、県外への移出も含む）を整理、分析を行った。

3 産業廃棄物の排出・処理量の推計及び廃棄物処理計画の進行管理状況の分析

1.2.1の結果等から、平成27年度の産業廃棄物の排出・処理量の推計を行うとともに、推計結果と福島県廃棄物処理計画（平成27年3月）で定めた目標値の達成状況やその分析を行い、計画の進捗状況のとりまとめを行った。

4 最終処分場残余年数の推定

1.2.1のデータ及び過去の同データを基に、県内の最終処分場残余年数を推計した。

5 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の電子化及び集計解析

排出事業者から提出された平成27年度の産業廃棄物管理票交付状況報告書及び電子マネーフレスト登録等状況報告書を基に、排出事業者の台帳の作成及び廃棄物の排出・処理状況の集計・解析を実施した。

6 資源化状況の解析

1.2.1のデータを基に、廃棄物種類ごとに資源化用途及び利用先業種(素材産業等)を整理し、資源化推進施策となる基礎情報を作成した。

7 汚染廃棄物の処理・処理状況等の把握

1.2.1のデータ対象者及び廃棄物等関連団体等に対して、ヒアリング調査等により放射性物

質に汚染された廃棄物の発生状況、発生量、保管量、処分量等の現状等を把握、集計し、福島県廃棄物処理計画進行管理システムに登録した。

8 「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」の更新等

1.2.1 のデータを基に、現行の「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」のデータを更新するとともに、1.2.2、1.2.3 の分析等がシステム上で行えるよう分析ツールを更新した。

1.3 各報告書の報告状況

平成 27 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書（郡山市、いわき市分を含む。）の報告状況は、表 1-1 のとおりである。

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書は、処分業者及び収集運搬業 2,649 件、排出事業者（多量（指定）排出事業者・施設設置事業者）366 件となっている。

また、捕捉調査として実施した鉱業からの報告は、10 件となっている。

表 1-1 報告者属性別・所管別の報告数、報告状況

	処分業者及び収集運搬業者		多量排出事業者等・施設設置者		鉱業	
	報告数	うち電子報告数	報告数	うち電子報告数	報告数	うち電子報告数
福島県	2,421	915	256	179	7	4
郡山市	45	28	47	32	0	0
いわき市	183	65	63	42	3	1
計	2,649	1,008	366	253	10	5

注)表中の「電子報告数」とは、報告書を電子メール及びその他電子媒体で提出されたものである。

1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

1 産業廃棄物処理業者の報告書の整理

(1) 物流情報の整理

平成 27 年度実績として提出された産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報について、廃棄物の種類、量、委託者（排出事業者）及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等を整理した。

更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1-2 に示す物流コードに基づきとりまとめた。

なお、委託者の排出事業者と業者（中間処理残さ物を委託）の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングを行った。

表 1-2 物流フローの整理内容

情報ソース	流れ	処分区分	物流コード(委託者)			備考
			事業者	業者	自社	
処分業者の報告	県内→県内	中間	A	ア	サ	
	県内→県内	最終	B	イ	シ	
	県外→県内	中間	C	ウ		
	県外→県内	最終	D	エ		
収集運搬業者の報告	県内→県外	中間	E	カ	ソ	
	県内→県外	最終	F	キ	タ	
	県内→県内	中間	Q	R		A、アとの重複情報のため集計しない
	県内→県内	最終	S	T		B、イとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	中間	U	V		C、ウとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	最終	W	X		D、エとの重複情報のため集計しない

(2) 排出事業者の産業分類（業種）の整備

(1)の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

2 排出事業者の産業分類（業種）の整備

1.4.1 の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

3 事業者の報告書の整備

平成 27 年度の実績として提出された、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づく多量排出事業者の実績報告及び福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例（以下、「適正化条例」という。）に基づく指定排出事業者の実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量、処分方法等を整備した。

4 産業廃棄物の排出量・処理量の推計

産業廃棄物の発生量及び処理量は、産業廃棄物排出事業者からの発生量と、自社処理量及び委託処理量で構成される。

(1) 委託処理の状況

産業廃棄物処理業者の受託処理実績から把握した。

(2) 自社処理の状況

自社で完結（委託に回らない）する処理は、売却又は自社利用、自社埋立である。これらの処理を行う事業者の大部分は、廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者であると仮定すると、それらの排出事業者からの報告データで推計することができる。推計方法の概略は、図 1-1 のとおり。

なお、(1)及び(2)情報から把握できない要因を整理し、捕捉調査を実施した。

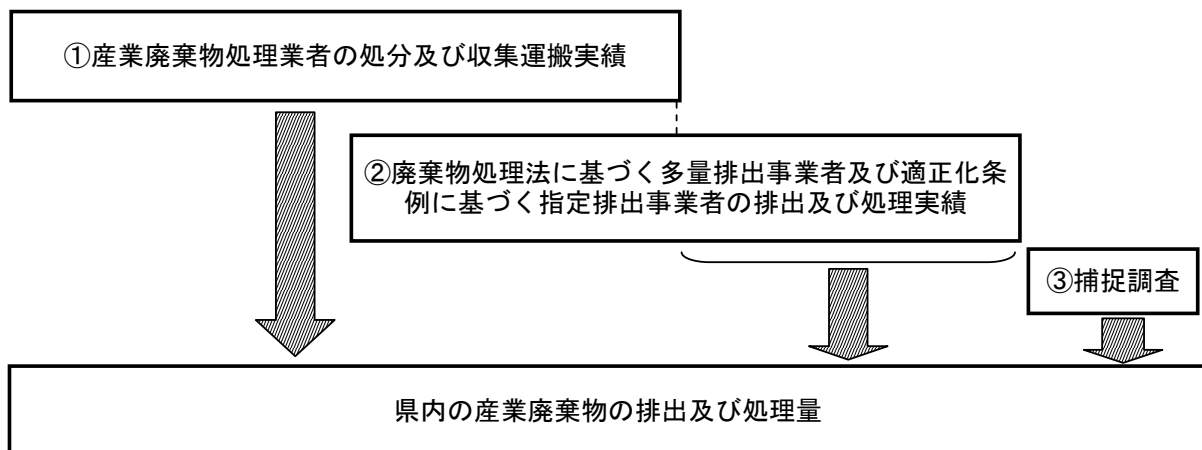


図 1-1 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略

① 産業廃棄物処理業者の処分及び収集運搬実績

排出事業者から排出された産業廃棄物のうち、県内又は県外の間処理又は最終処分業者による産業廃棄物の処理実績から、委託者（排出事業者）を整理し、処理フローを作成した。

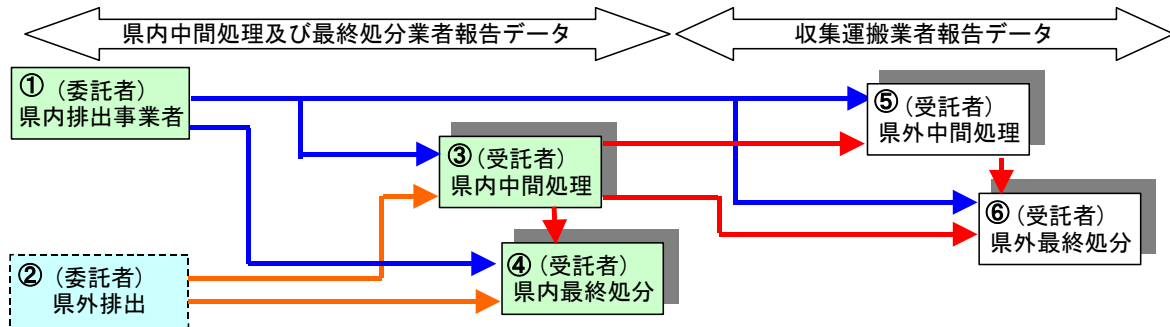


図 1-2 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

② 排出事業者の排出及び処理実績

廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者による自己処理で処理が完結している自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量について、処理フローを作成した。

③ 捕捉調査

①、②の情報から十分に把握できない、鉱業からの汚泥（砂利等の採取事業所内で脱水処理され現場内再利用等が行われているもの等）については、アンケート調査を実施し情報を補完した。

1.5 調査に関する基本的な事項

1 地区区分

本調査における本県の地区区分は、表 1-3 に示すとおりとした。

表 1-3 地区区分

	地区名	構成市町村
T1	県北地区	福島市、二本松市、伊達市、本宮市 伊達郡（桑折町、国見町、川俣町） 安達郡（大玉村）
T2	県中地区	須賀川市、田村市 岩瀬郡（鏡石町、天栄村） 石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町） 田村郡（三春町、小野町）
T3	県南地区	白河市 西白河郡（西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町） 東白川郡（棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村）
T4	会津地区	会津若松市、喜多方市 耶麻郡（猪苗代町、北塩原村、西会津町、磐梯町） 河沼郡（会津坂下町、湯川村、柳津町） 大沼郡（会津美里町、三島町、金山町、昭和村）
T5	南会津地区	南会津郡（南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町）
T6	相双地区	相馬市、南相馬市 双葉郡（広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村） 相馬郡（新地町、飯舘村）
TA	郡山市	郡山市
TB	いわき市	いわき市

2 調査対象産業廃棄物

調査対象産業廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に定める次の産業廃棄物とした。

①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕⑮鉱さい、⑯がれき類、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「13号廃棄物」と略した〕
※上記以外の種類に分類できない廃棄物は、「その他産業廃棄物」とした。

また、次に示す有償物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

ア 有償で売却されるものであっても今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるものについては、産業廃棄物として今回の調査対象に含めた。（例 金属スクラップ及び火力発電所から発生する脱硫石膏等）

イ 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体が産業廃棄物に該当する要件が、廃棄物処理法で、排出事業者の業種が指定されているため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。

ウ 酸性又はアルカリ性を呈する廃水を公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、当該廃水を除外し、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

エ 廃棄物を自己焼却処理する場合は、燃え殻等の発生量ではなく焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

3 産業廃棄物の種類の区分

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合、本調査では変化後の種類で記載した場合には、（処分時点）又は（再生利用時点）と記載した。

例 木くず→（焼却）→燃え殻（中間処理前の種類及び中間処理方法から推定）
（最終処分量の解析の際に、燃え殻（処分時点）と記載。）

4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成 19 年 11 月改訂、総務省）に記載されている区分を基本にして、表 1-4 のとおりとした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-4 調査対象業種

日本標準産業分類		略称
A	農業，林業 農業 林業	農業・林業 農業 林業
B	漁業	漁業
C	鉱業	鉱業
D	建設業	建設業
E	製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他製造業
F	電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
G	情報通信業	情報通信業
H	運輸業，郵便業	運輸・郵便業
I	卸売業，小売業	卸・小売業
J	金融業，保険業	金融・保険業
K	不動産業，物品賃貸業	不動産業・物品賃貸業
L	学術研究，専門・技術サービス業	専門サービス業
M	宿泊業，飲食サービス業	宿泊業・飲食サービス業
N	生活関連サービス業，娯楽業	生活サービス業
O	教育，学習支援業	教育・学習支援業
P	医療，福祉	医療・福祉業
Q	複合サービス業	複合サービス業
R	サービス業	サービス業
S	公務	公務

第2章 調査結果の概略

2.1 平成27年度の産業廃棄物の排出状況

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の排出量は、図2-1～図2-2、表2-1のとおりである。

平成27年度における産業廃棄物の排出量7,936千トンを経業種別にみると、製造業が2,732千トンで最も多く、次いで、電気・ガス・水道業が2,577千トン、建設業が2,173千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、汚泥が3,605千トンで最も多く、次いで、がれき類が1,853千トン、ばいじんが1,534千トンとなっている。

各産業廃棄物の主な排出元となる業種は、汚泥は製造業及び電気・ガス・水道業、がれき類は建設業、ばいじんは電気・ガス・水道業となっている。

東日本大震災発生前（平成18年度～平成22年度）において、県内の産業廃棄物の排出量は、減少傾向を示していた。

平成23年度の排出量は、東日本大震災の影響により、復旧・復興工事に伴うがれき類の排出量が増加したものの、石炭火力発電所の稼働停止によりばいじんの排出量が減少したこと、下水道業からの汚泥の排出量が減少したことにより、平成22年度と比較して大幅な減少となった。平成24年度においては、石炭火力発電所の稼働再開によりばいじんの排出量が増加し、震災発生前（平成22年度）と同程度まで排出量が増加した。

平成27年度の排出量は、震災発生前（平成22年度）とほぼ同じ水準となっている。震災発生前と比較して、ばいじんやがれき類の排出量が増加しているが、汚泥の排出量は減少している。

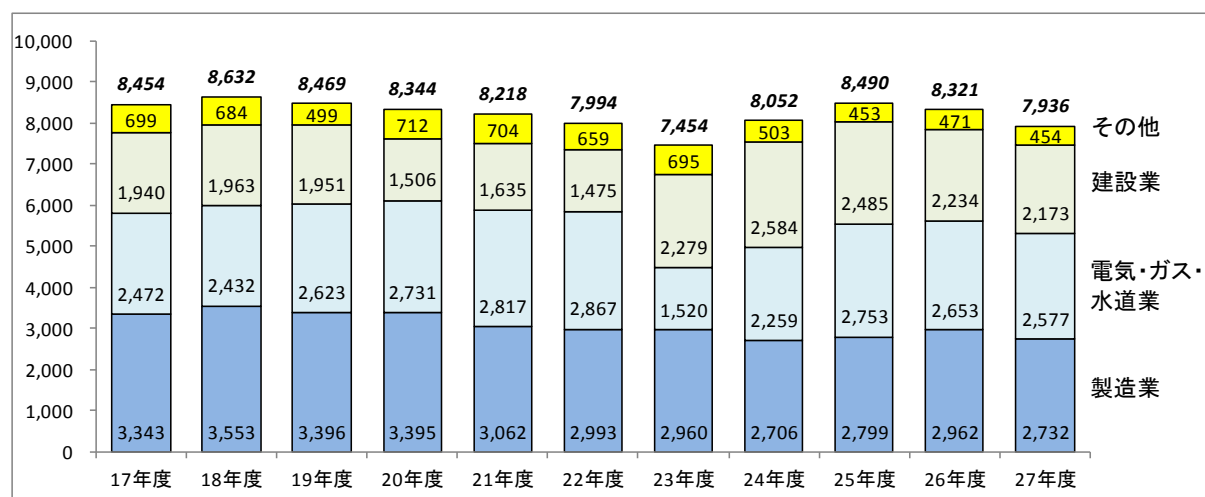


図2-1 排出事業者の業種別産業廃棄物排出量の推移

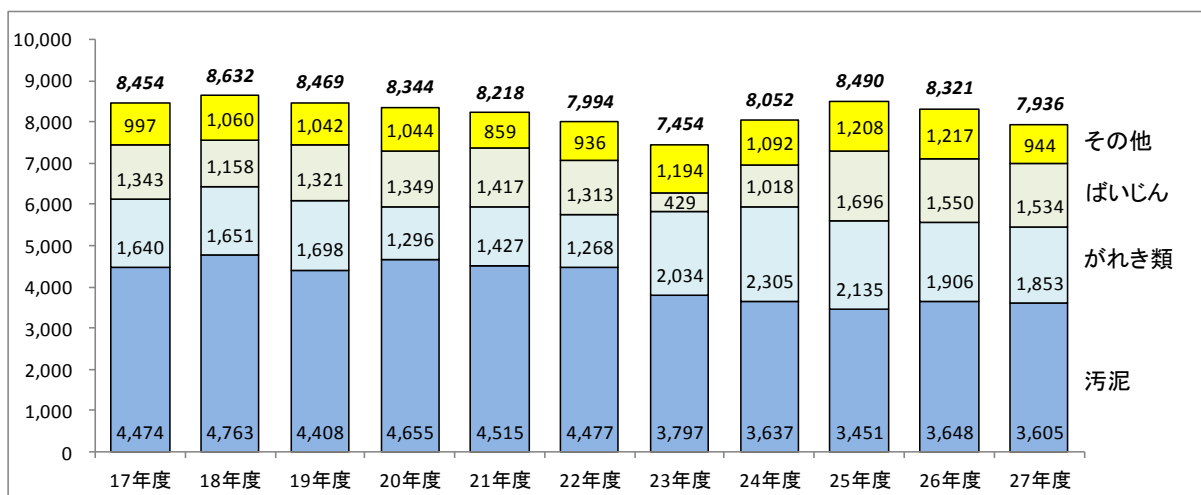


図 2-2 産業廃棄物の種類別排出量の推移

表 2-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の排出量

(単位: 千t/年)

業種 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	7,936 (100%)	278 (3%)	2,173 (27%)	2,732 (34%)	2,577 (32%)	6 (0%)	7 (0%)	9 (0%)	126 (2%)	29 (0%)
燃え殻	107 (1%)		2	7	98	0	0	0	0	0
汚泥	3,605 (45%)	278	63	2,260	960	1	1	1	34	9
廃油	32 (0%)		1	19	0	0	1	0	9	1
廃酸	27 (0%)		0	22	0	0	0	0	4	0
廃アルカリ	67 (1%)		1	55	0	0	0	0	10	1
廃プラスチック類	160 (2%)		30	89	0	2	4	2	31	3
紙くず	5 (0%)		3	2						
木くず	147 (2%)		143	4		0	0	0	0	0
繊維くず	1 (0%)		1							
動植物性残さ	16 (0%)			16						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)		0	0					0	0
金属くず	38 (0%)		18	9	0	0	1	0	10	1
ガラス陶磁器くず	153 (2%)	0	33	89	11	2	1	1	11	5
鉱さい	124 (2%)		0	116	4	0	1		3	0
がれき類	1,853 (23%)		1,853	0						
ばいじん	1,534 (19%)		0	30	1,504		0	0	0	0
動物のふん尿	6 (0%)									6
その他	60 (1%)		25	15	0	0	0	5	12	2

*表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は 500 t/年未満のもの。以下の図表において同じ。

産業廃棄物の地区別排出量は、図 2-3、表 2-2 のとおりである。

排出量を地区別にみると、いわき市が 3,515 千トンで最も多く、次いで、相双地区が 1,810 千トン、以下、県北地区が 852 千トン、郡山市が 530 千トン、会津地区が 411 千トン、県南地区が 336 千トン、郡山市を除く県中地区が 310 千トン、南会津地区が 172 千トンとなっている。

平成 23 年度以降、相双地区を除き、他の地区での産業廃棄物排出量は概ね横ばいまたは減少傾向であるが、相双地区は、東日本大震災に伴い事業活動が停止した火力発電所の再開により平成 24 年度から平成 25 年度に増加している。

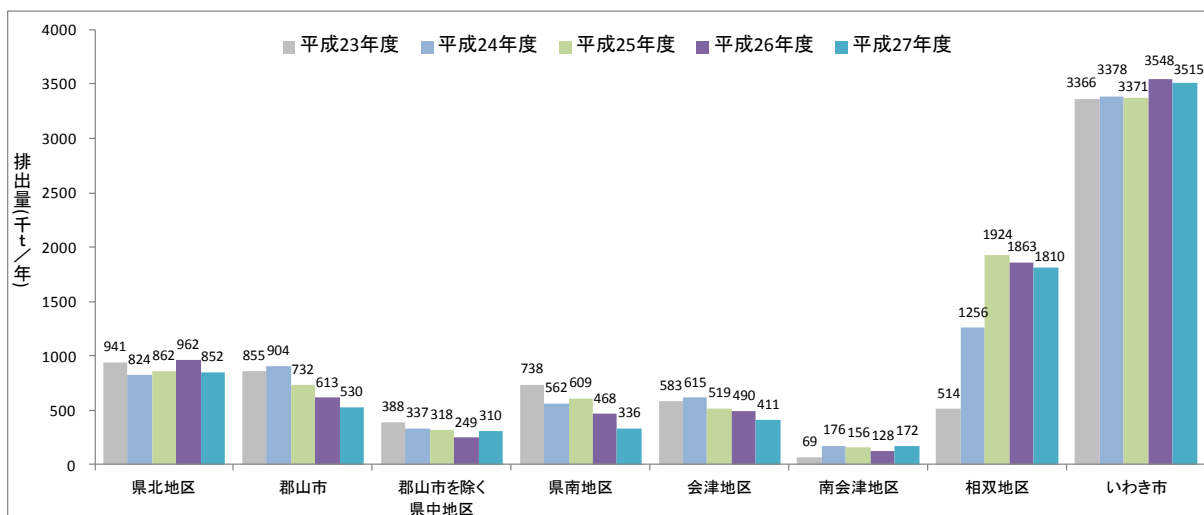


図 2-3 産業廃棄物の地区別排出量の推移

表 2-2 産業廃棄物の地区別排出量

地区		(単位：千t/年)								
		計	県北地区	郡山市	郡山市を除く 県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	いわき市
種類	合計	7,936 (100.0%)	852 (10.7%)	530 (6.7%)	310 (3.9%)	336 (4.2%)	411 (5.2%)	172 (2.2%)	1,810 (22.8%)	3,515 (44.3%)
	燃え殻	107	0	0	0	2	1	0	83	21
	汚泥	3,605	297	316	37	87	166	79	127	2,497
	廃油	32	4	3	3	5	4	0	5	8
	廃酸	27	6	3	6	1	1	0	2	7
	廃アルカリ	67	2	9	6	7	12	0	15	16
	廃プラスチック類	160	42	14	9	23	8	1	10	54
	紙くず	5	2	1	0	0	0	0	1	0
	木くず	147	36	16	13	22	15	8	17	20
	繊維くず	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	動植物性残さ	16	5	4	3	2	0		0	1
	動物系固形不要物									
	ゴムくず	0	0		0					
	金属くず	38	11	5	5	2	1	1	3	11
	ガラス陶磁器くず	153	32	17	15	7	19	3	27	34
	鉱さい	124	61	2	13	30	8	0	3	8
	がれき類	1,853	333	128	198	146	163	79	278	527
	ばいじん	1,534	0	0	0	0	1	0	1,233	300
	動物のふん尿	6	5			2				
	動物の死体	2								0
	その他産業廃棄物	58	15	10	2	1	10	1	7	11

2.2 平成 27 年度の産業廃棄物の処理状況

平成 27 年度に発生した産業廃棄物の処理フローは、**図 2-4** のとおりである。

排出量 7,936 千トンのうち、95%に当たる 7,538 千トン（中間処理量）が排出事業者または産業廃棄物処理業者による脱水、焼却等の中間処理がなされて、そのうち 3,471 千トン（減量化量）が減量された。

中間処理後の再生利用量（3,861 千トン）と排出事業者等での直接再生利用量（29 千トン）を合わせた再生利用量は、排出量の 49%に当たる 3,889 千トンとなっている。

直接最終処分量と中間処理後の最終処分量を合わせた最終処分量は 570 千トンで、排出量の 7%となっている。

なお、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境汚染の影響により中間処理後に処分されず保管されている保管量は 5 千トンとなっている。（指定廃棄物を除く）

平成 26 年度と比較して平成 27 年度の再生利用量は 264 千トン減少（再生利用率 1 ポイント減少）、最終処分量は 112 千トン減少（最終処分率 1 ポイント減少）となっている。

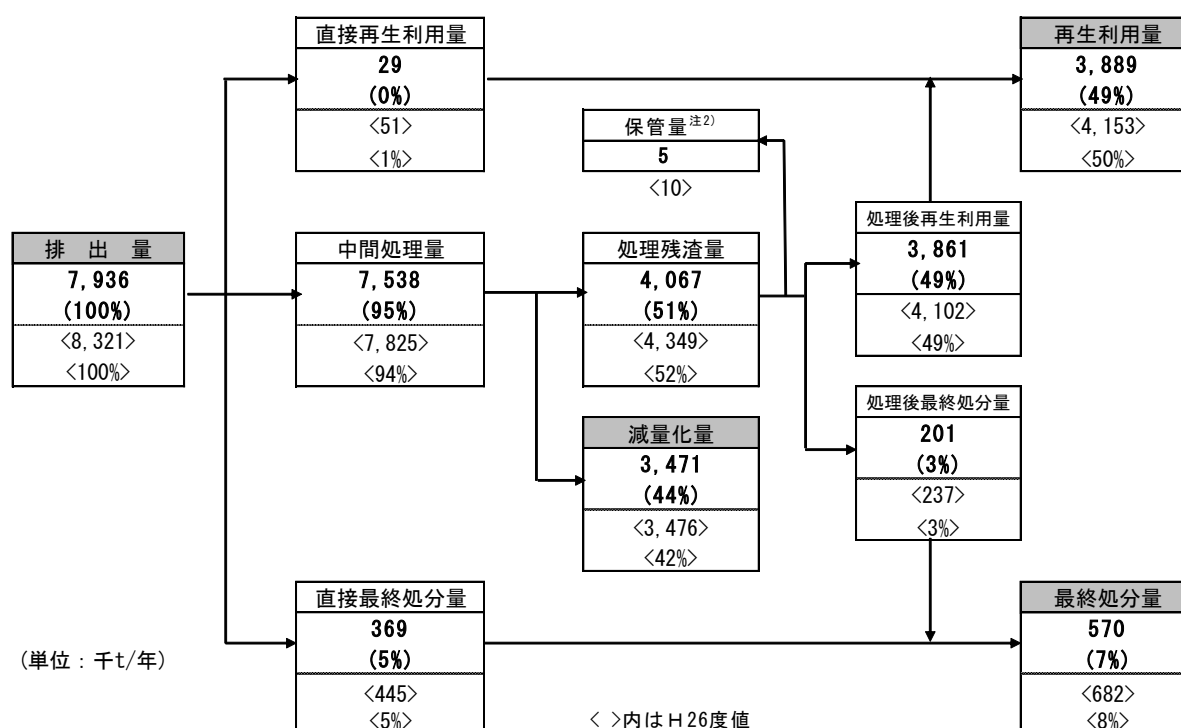


図 2-4 産業廃棄物の処理フロー

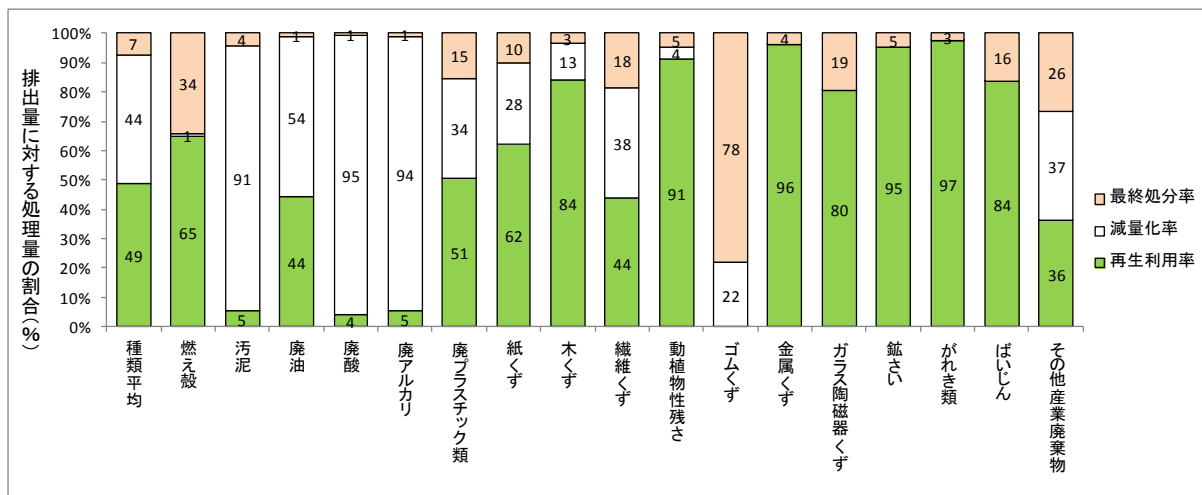
注 1) カッコ内の数値は排出量に占める割合で、端数処理の関係により割合の合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

注 2) 保管量は、排出事業者および産業廃棄物処理業者に対して実施したアンケート調査等結果から、定量化できたものを集計したもの。以下の図表において同じ。

産業廃棄物の種類別の処理区分をみると、図 2-5 のとおりである。

種類ごとに処理率をみると、汚泥、廃酸、廃アルカリは減量化される割合が高く、動植物性残さ、金属くず、鉱さい、がれき類は再生利用率が高くなっている。

一方で、燃え殻、ゴムくずは、最終処分率が高くなっている。



※図中の構成比 (%) の数値は、四捨五入しているため合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

図 2-5 産業廃棄物の種類別の処理区分

なお、産業廃棄物の処理状況を詳細にみたフローは、図 2-6 のとおりである。

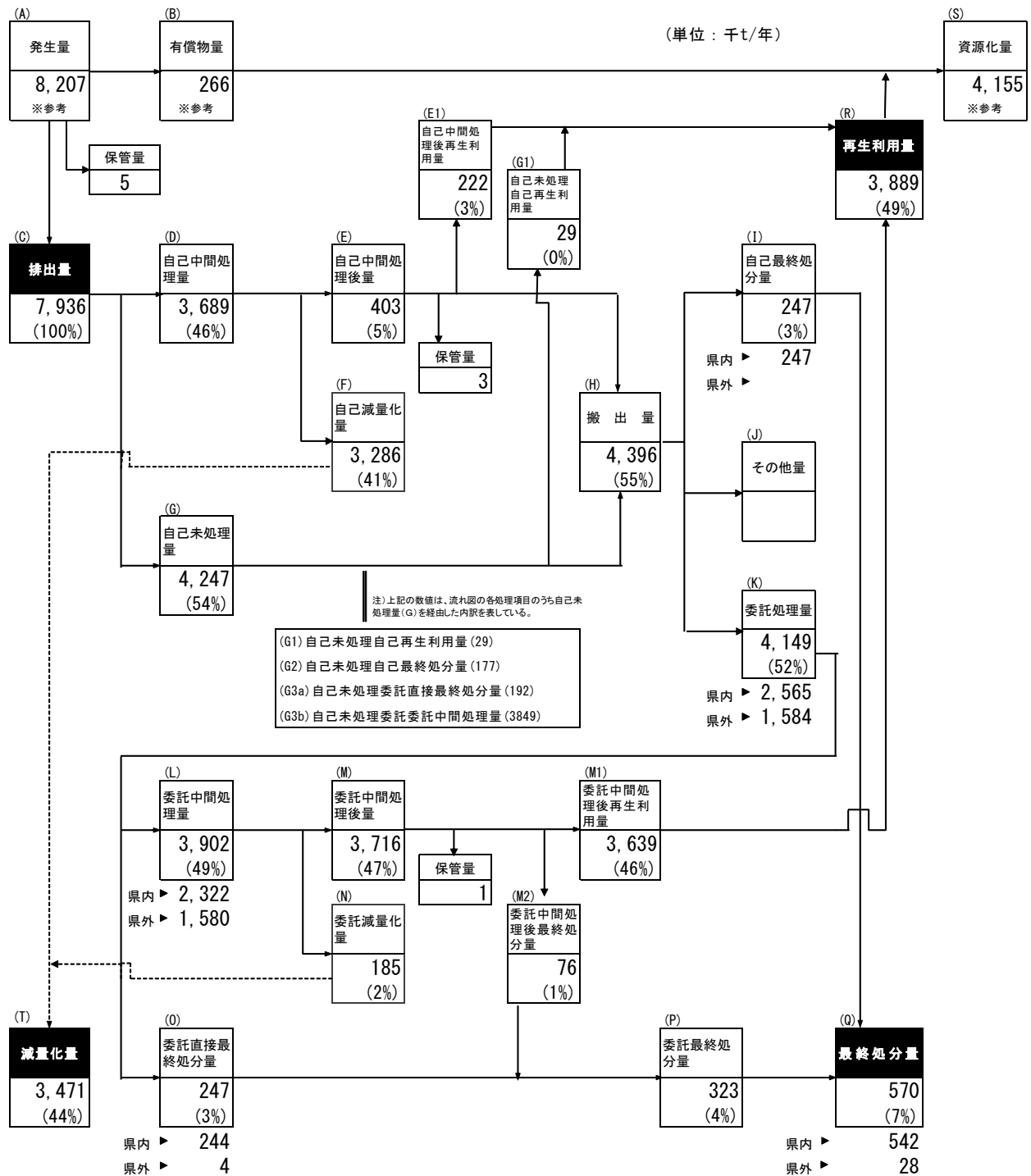


図 2-6 産業廃棄物の処理状況詳細フロー

2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況

福島県廃棄物処理計画（平成27年3月）では、平成32年度における目標値をそれぞれ「排出量（825万トン以下）」、「再生利用率（51%以上）」、「最終処分率（8%以下）」とし、達成状況の進行管理をしている。

この目標値に対する実績値は、図2-7及び図2-8のとおりである。

平成27年度実績を目標値と比較すると、排出量（平成27年度:7,936千トン）と最終処分率（同:7%）の目標値は達成しているが、再生利用率（同:49%）については、目標値を達成していない。

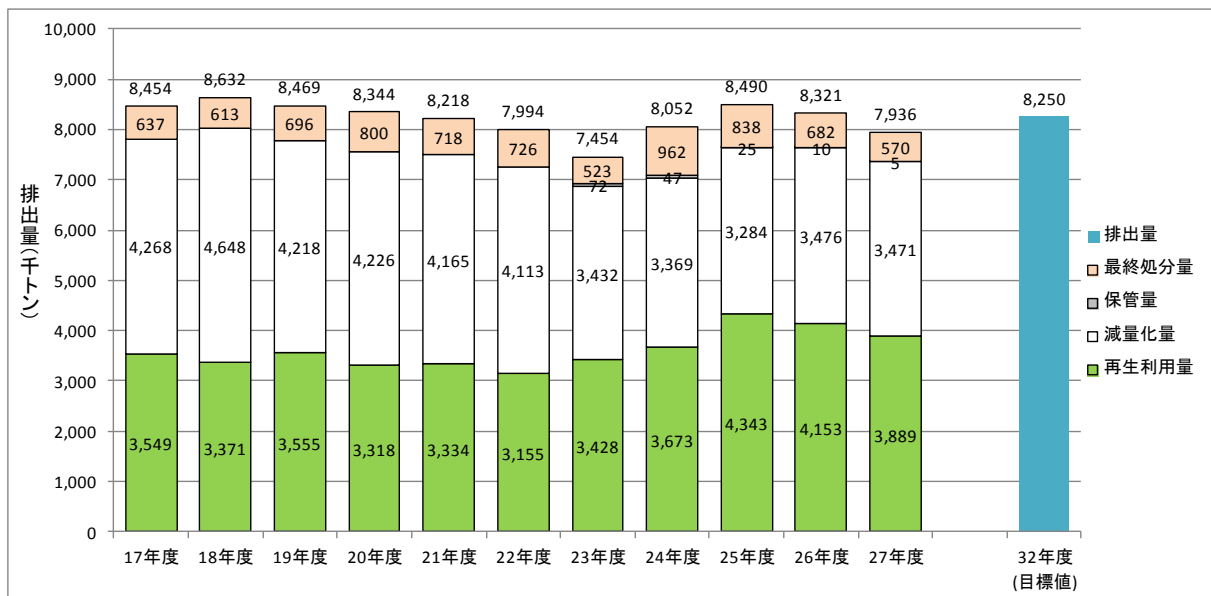


図 2-7 福島県廃棄物処理計画の達成状況（排出量）

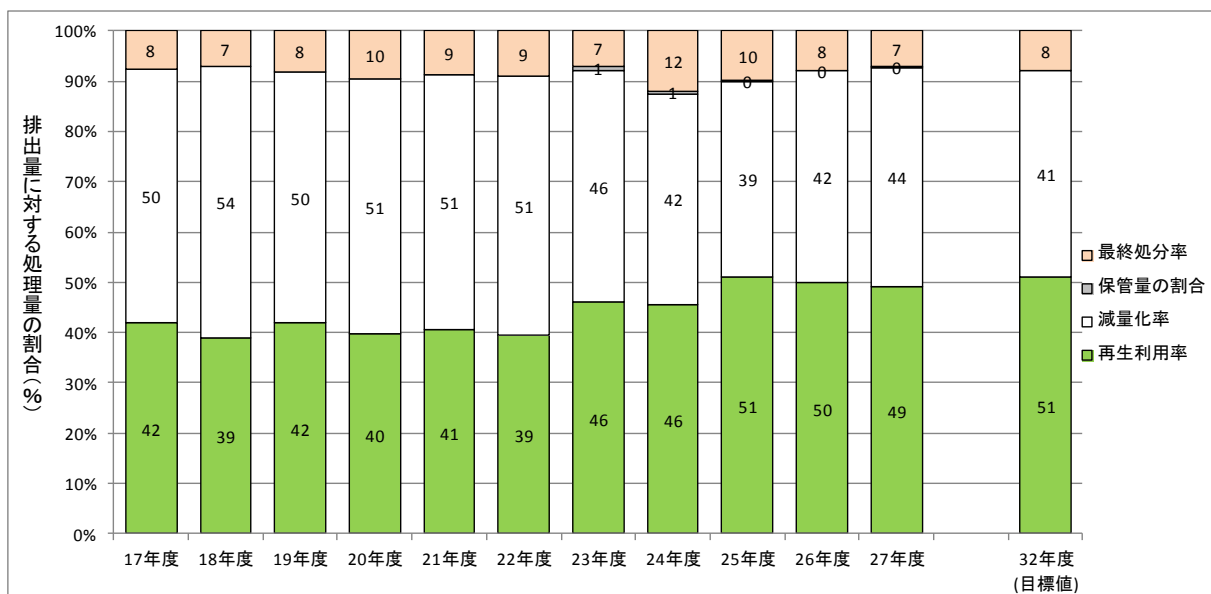


図 2-8 福島県廃棄物処理計画の達成状況（再生利用率・最終処分率）

2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況

平成 27 年度の県内の産業廃棄物処理業者による中間処理実績及び最終処分実績を地区別にみると図 2-9 及び図 2-10 のとおりである。

産業廃棄物処理業者の中間処理実績を地区別にみると、いわき市が多くなっている。

産業廃棄物処理業者の最終処分実績を地区別にみると、いわき市、県北地区、相双地区が多くなっている。

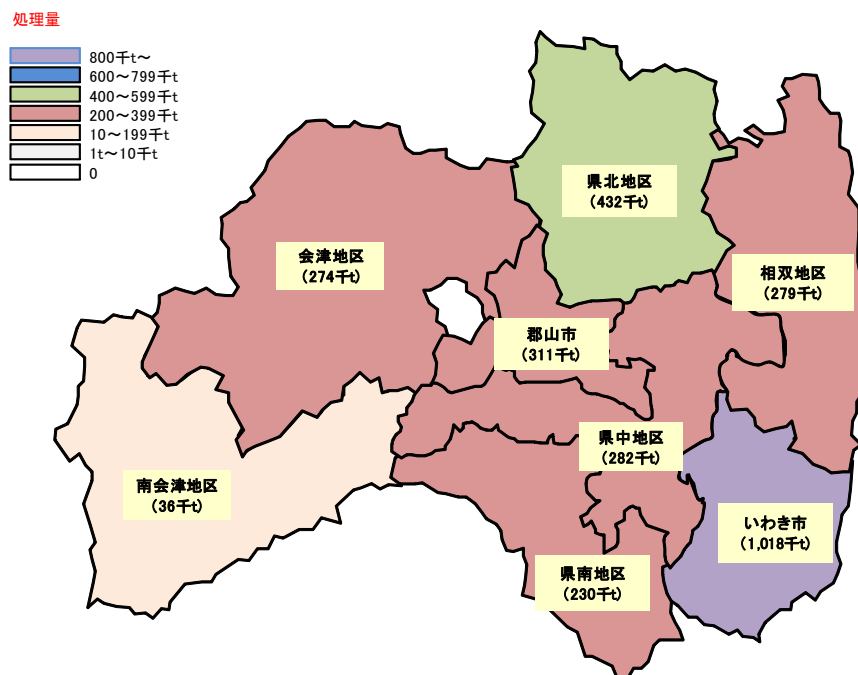


図 2-9 産業廃棄物処理業者の地区別中間処理実績

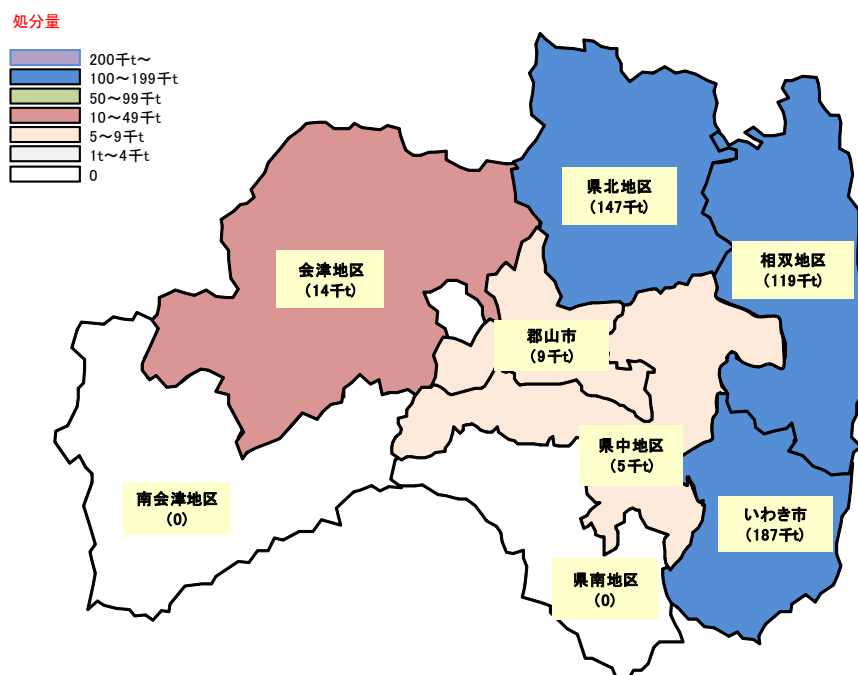


図 2-10 産業廃棄物処理業者の地区別最終処分実績

2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果

平成 27 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（郡山市、いわき市分を含む。）等を基に、「福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム」に情報登録し、福島県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、**図 2-11**、**図 2-12** のとおりである。

(1) 図 2-11、図 2-12 における各断面のデータについて

●赤枠処理項目

廃棄物処理法に基づく**多量排出事業者**及び適正化条例に基づく**指定排出事業者**より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している有償物量、自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量、保管量について、処理フローを作成した。

●青枠処理項目

福島県内（郡山市、いわき市含む）の**産業廃棄物処分業者**の処分実績から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物の量は除外した。

●緑枠処理項目

福島県（郡山市、いわき市含む）許可を有する**産業廃棄物収集運搬業者**の運搬実績（県外への搬出分）から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物を排除した。

(2) 図 2-11、図 2-12 の表示値について

図 2-11 は、**多量排出事業者**及び**指定排出事業者**および**産業廃棄物処分業者**、**収集運搬業者**の処理実績データを単純に集計した。

図 2-12 は、図 2-11 のうち、排出事業者の業種が指定されている業種以外の事業所から発生した事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体）は除外した。

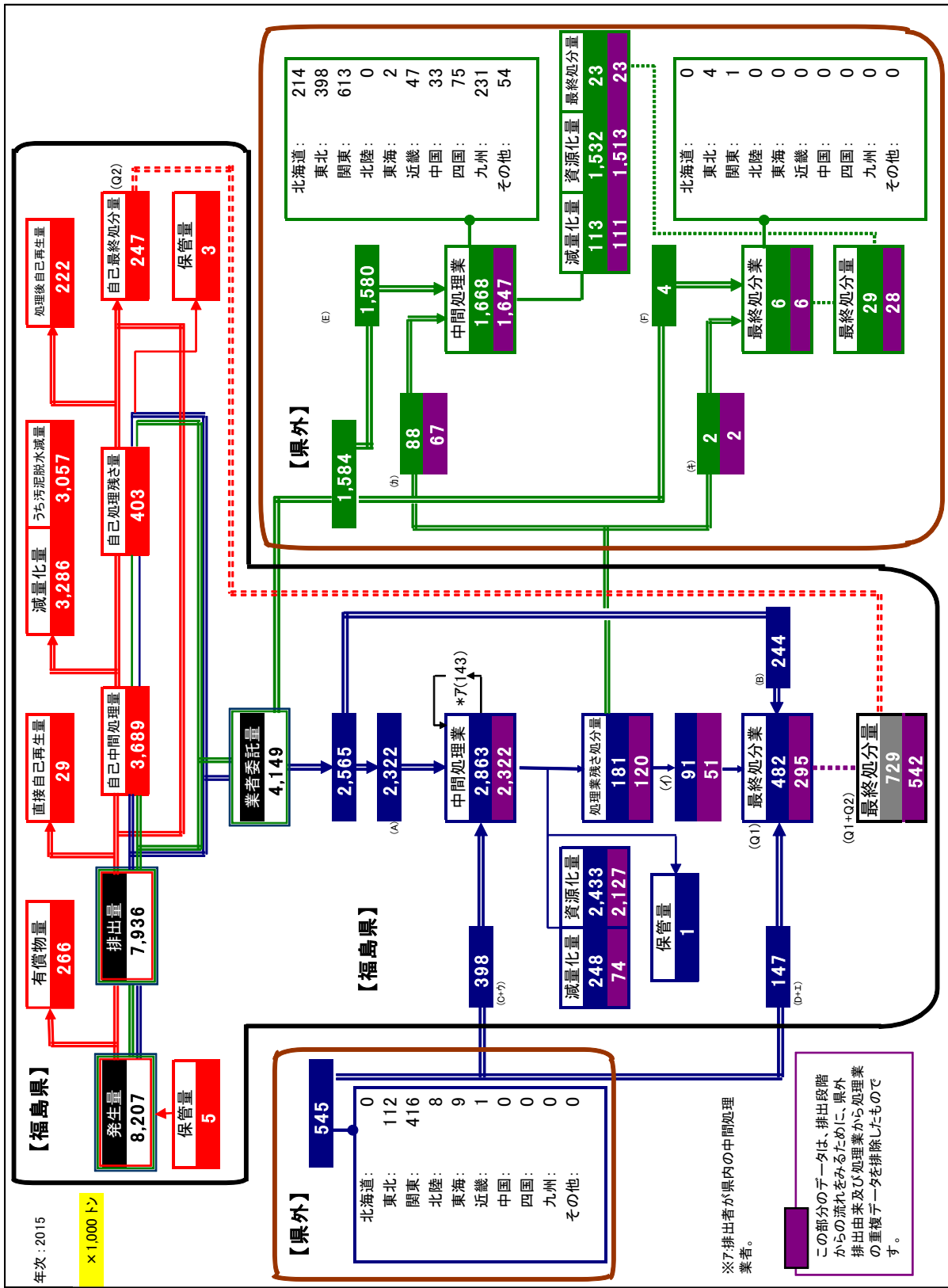


図2-12 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）＜福島県産業廃棄物処理計画進行管理用＞

2.6 東北地方太平洋沖地震及び大津波による産業廃棄物の排出量の経年変化

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震及び大津波により、過去に経験したことのないほどの甚大な被害が生じるとともに、それに伴って膨大な災害廃棄物が発生した。

さらに、本県においては、福島第一原子力発電所の事故により、産業廃棄物についても、放射性物質に汚染され、通常の処理が困難になった。平成 22 年度から平成 27 年度の排出量、再生利用量、最終処分量等の変化は、以下のとおりである。

(1) 排出量の経年変化

産業廃棄物の種類別にみた排出量の経年変化は、図 2-13 のとおりである。

排出量は、震災に伴い稼働を停止した火力発電所（ばいじん、燃え殻）の影響により平成 23 年度に減少となったが、平成 24 年度から平成 27 年度は火力発電所の再開に伴い発生するばいじんが大幅に増加し、工事に伴うがれき類も大幅に増加した。県内の産業廃棄物の排出量は平成 22 年度 7,994 千トンから平成 23 年度 7,454 千トンへ減少、平成 24 年度は 8,052 千トン、平成 25 年度は 8,490 千トンと増加、平成 26 年度は 8,321 千トンへ減少し、平成 27 年度は汚泥やがれき類等の減少により 7,936 千トンへ減少となった。

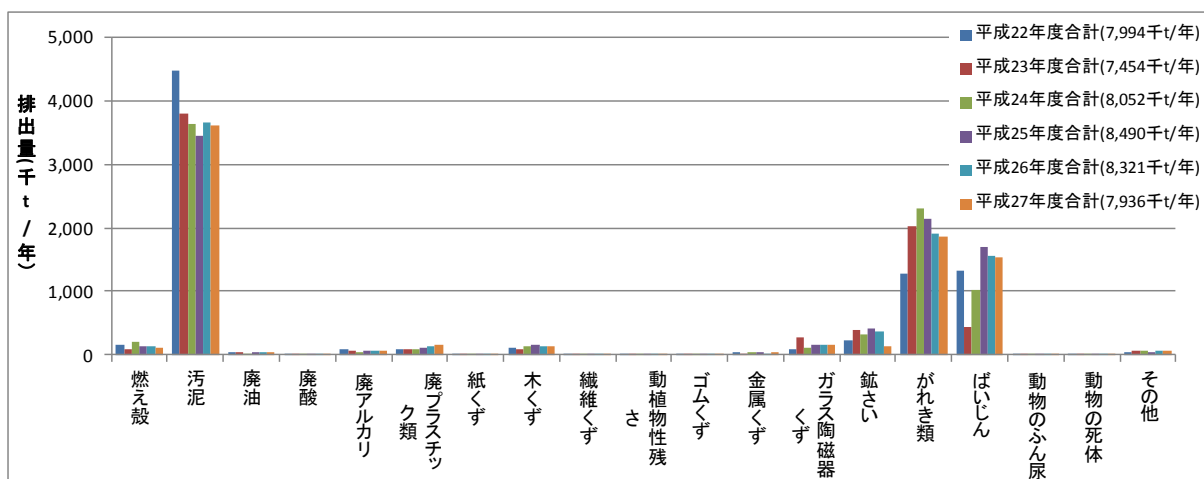


図 2-13 平成 22 年度から 27 年度の種類別排出量の経年変化

(2) 再生利用量の経年変化

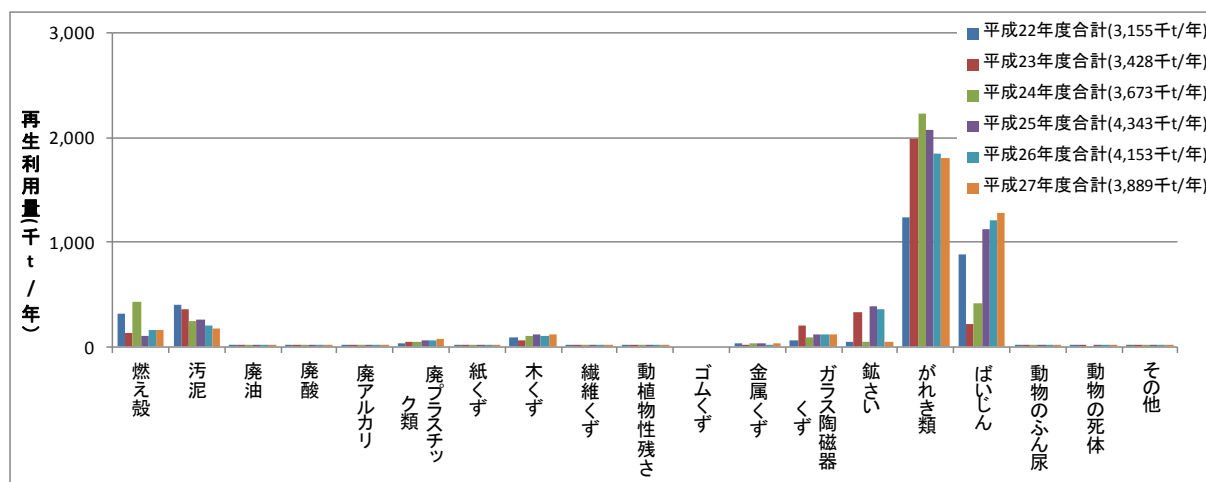
産業廃棄物の種類別にみた再生利用量及び再生利用率は、**図 2-14**～**図 2-15** のとおりである。

再生利用量は、平成 23 年度に火力発電所が稼働を停止したことにより、ばいじんの排出量が減少し再生利用量も減少となったが、平成 24 年度に火力発電所の稼働再開に伴い、排出量及び再生利用量とも増加した。

また、災害復興に伴う建設業の事業活動が増加したことからがれき類の再生利用量が増加、平成 25 年度では、火力発電所からのばいじんの再生利用量が増加した。

全体の再生利用量は、平成 22 年度 3,115 千トン、平成 23 年度 3,428 千トン、平成 24 年度は 3,673 千トン、平成 25 年度は 4,343 千トン、平成 26 年度は 4,153 千トンと減少、平成 27 年度は汚泥やがれき類等の減少により 3,889 千トンへ減少となった。**(図 2-14)**

全体の再生利用率は、再生利用率の高いがれき類の排出量及び再生利用量が減少したことから、やや減少傾向を示している（平成 27 年度：49%）。**(図 2-15)**



*種類は、再生利用時点の種類で集計したもの。

図 2-14 平成 22 年度から 27 年度の種類の再生利用量の経年変化

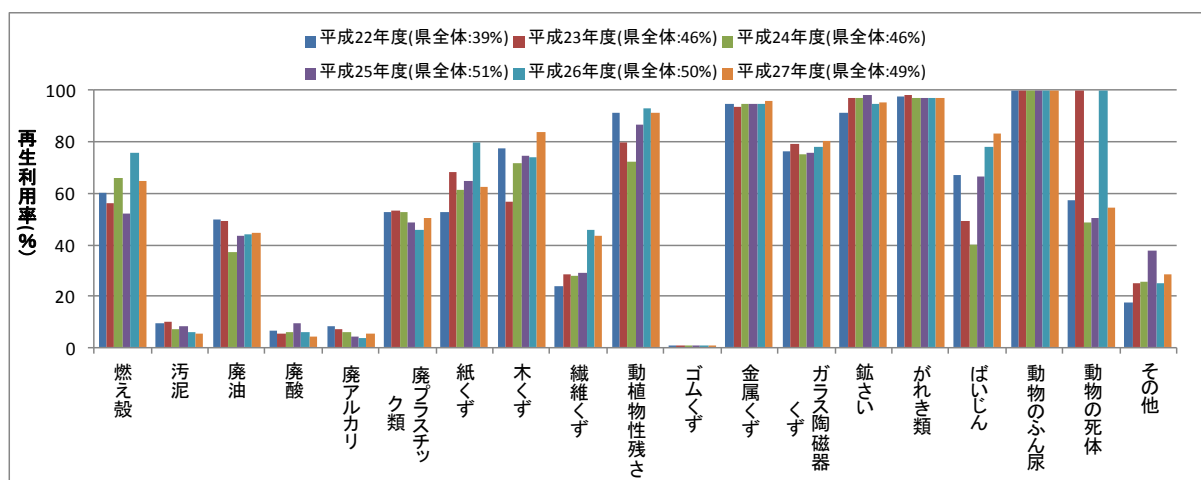


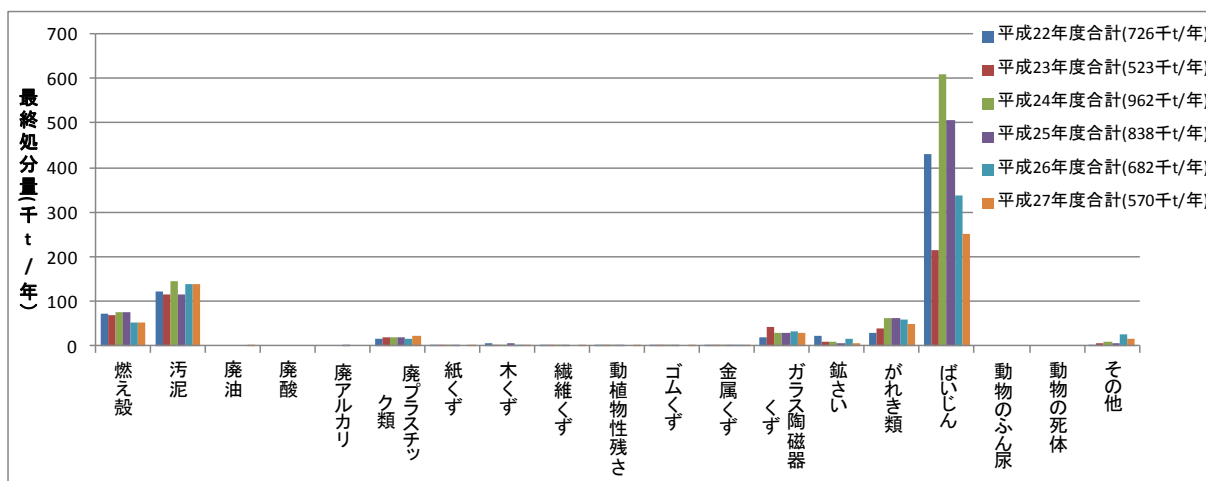
図 2-15 平成 22 年度から 27 年度の種類の再生利用率の経年変化

(3) 最終処分量の経年変化

産業廃棄物の種類別にみた最終処分量及び最終処分率は、図 2-16～図 2-17 のとおりである。

最終処分量は、平成 23 年度に火力発電所から発生するばいじんの最終処分量が災害（稼働停止）により減少したが、平成 24 年度は稼働再開に伴い最終処分量が増加となり、全体の最終処分量は、平成 22 年度 726 千トン、平成 23 年度 523 千トンから平成 24 年度 962 千トンへ増加し、平成 25 年度以降は、火力発電所から排出されたばいじんの再生利用量の増加に伴い最終処分量が減少したことから、平成 25 年度 838 千トン、平成 26 年度 682 千トン、平成 27 年度 570 千トンへ減少となった。（図 2-16）

全体の最終処分率は、平成 22 年度 9%、平成 23 年度 7%、平成 24 年度 12%へ上昇し、平成 25 年度 10%、平成 26 年度 8%、平成 27 年度 7%へ低下した。（図 2-17）



*種類は、最終処分時点の種類で集計したもの。

図 2-16 平成 22 年度から 27 年度の種類の最終処分量の経年変化

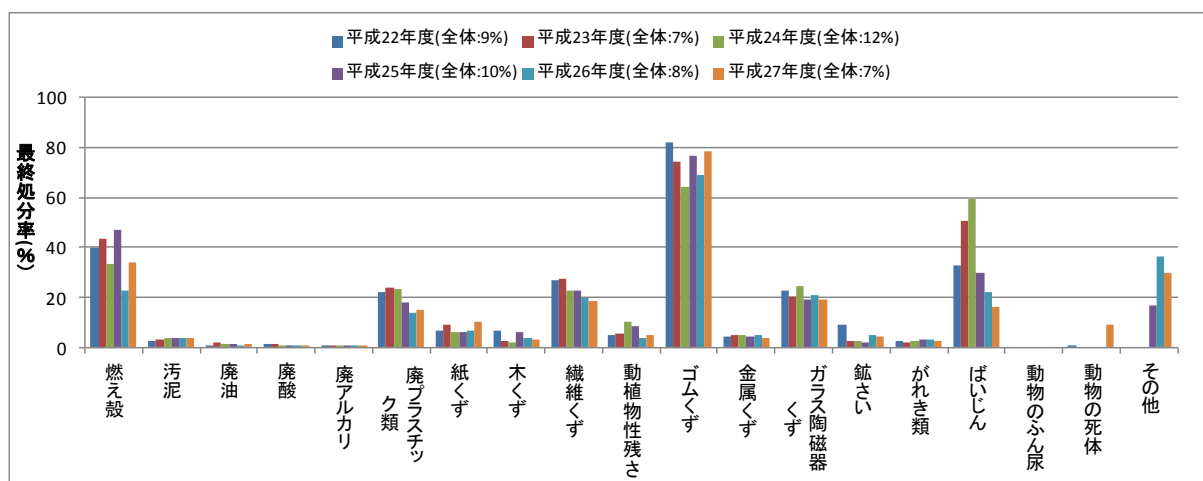


図 2-17 平成 22 年度から 27 年度の種類の最終処分率の経年変化

第3章 産業廃棄物処理業者の実績

3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

平成27年度における産業廃棄物処理業者の処分実績の概要は、図3-1のとおりである。

県内での中間処理量は2,863千トンとなっており、このうち2,465千トンが県内の排出事業者等から搬入され、398千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は482千トンで、このうち335千トンが県内の排出事業者等から搬入され、147千トンが県外から搬入されている。

県外へ搬出された産業廃棄物は1,674千トンで、このうち中間処理のため排出されたものが1,668千トン、最終処分のために搬出されたものが6千トンとなっている。

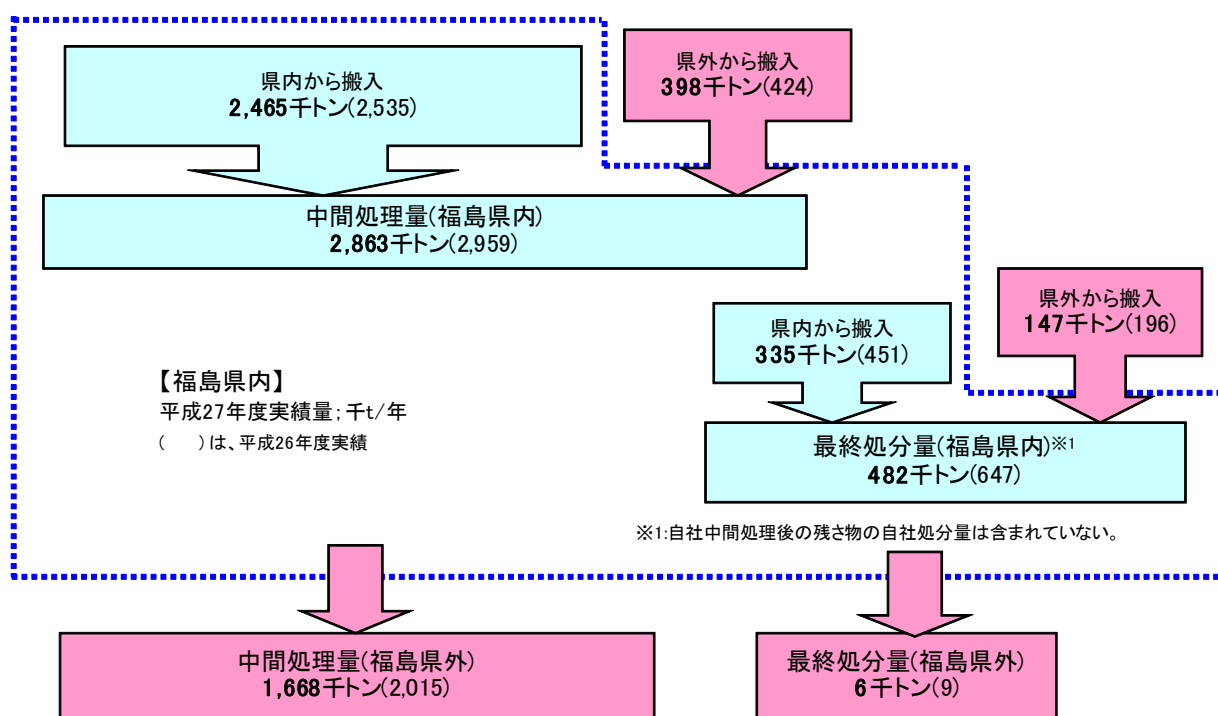


図3-1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

1 県内の中間処理業者の処分実績

中間処理業者の産業廃棄物の種類別の処理量をみると、**図 3-2** 及び**表 3-1** のとおりである。

中間処理業者の処理量 **2,863** 千トンのうち、がれき類が最も多くなっており、全体の **64%** を占めている。

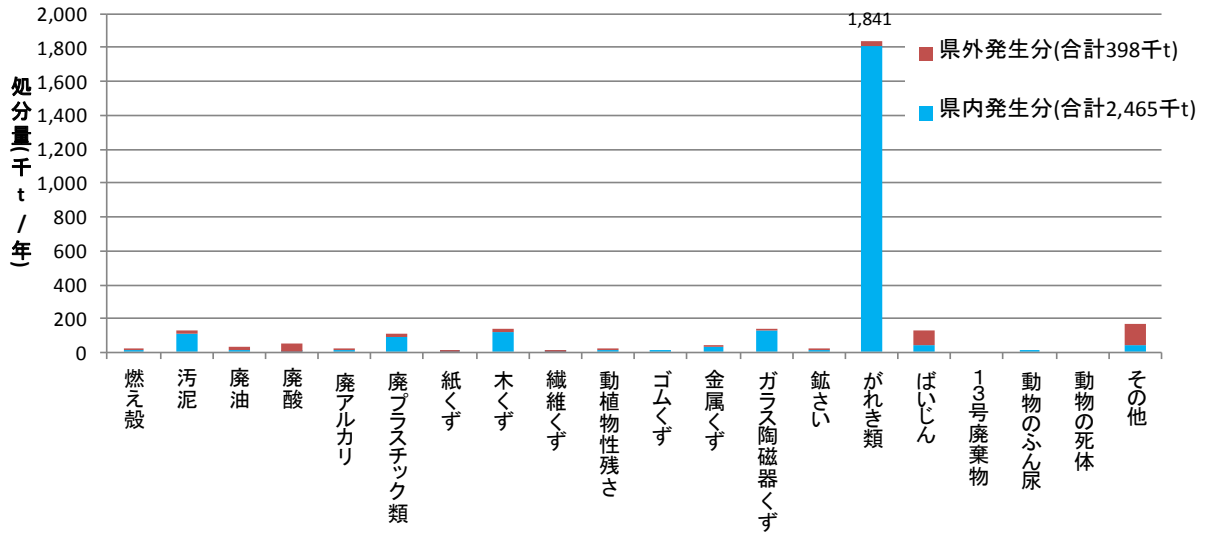


図 3-2 県内の中間処理業者の種類別処分実績

2 県内の最終処分業者の処分実績

最終処分業者の最終処分量を産業廃棄物の種類別にみると、**図 3-3** 及び**表 3-1** のとおりである。

最終処分業者の最終処分量 **482** 千トンのうち、ばいじんが最も多く、以下、汚泥、がれき類、燃え殻、廃プラスチック類の順となっており、この **5** 種類で全体の **89%** を占めている。

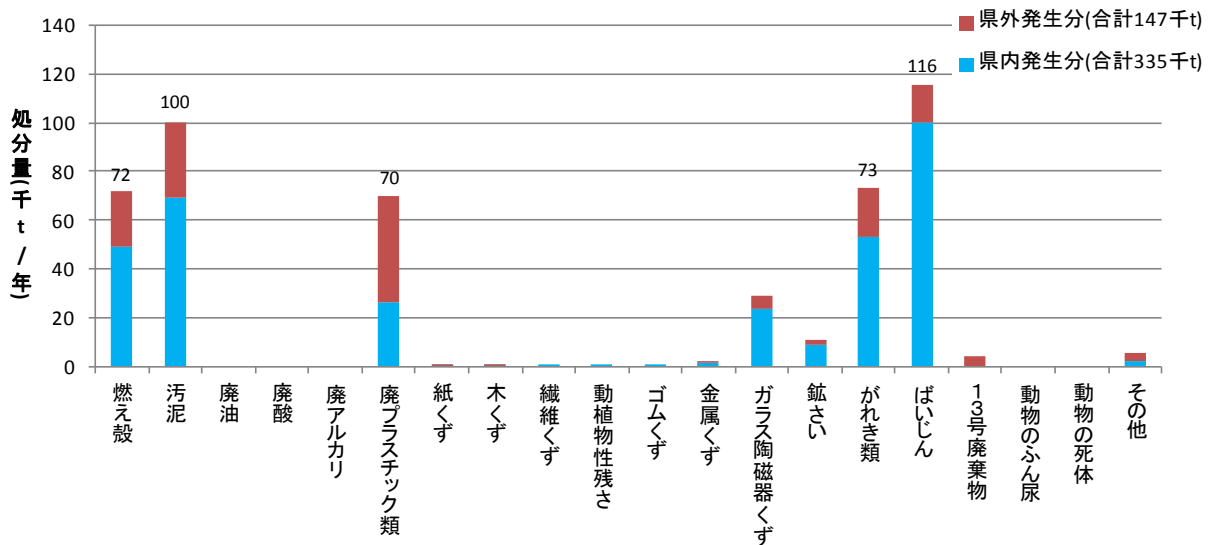


図 3-3 県内の最終処分業者の種類別処分実績

3 県外へ搬出された産業廃棄物の処分実績（収集運搬者実績報告より）

県内へ搬出された産業廃棄物の処分量を種類別にみると図 3-4 及び表 3-1 のとおりである。

県外へ搬出された産業廃棄物 1,674 千トンのうち、ばいじんが全体の 74% を占めている。なお、県外へ搬出されたばいじんのほとんどはセメント原料などに資源化されている。

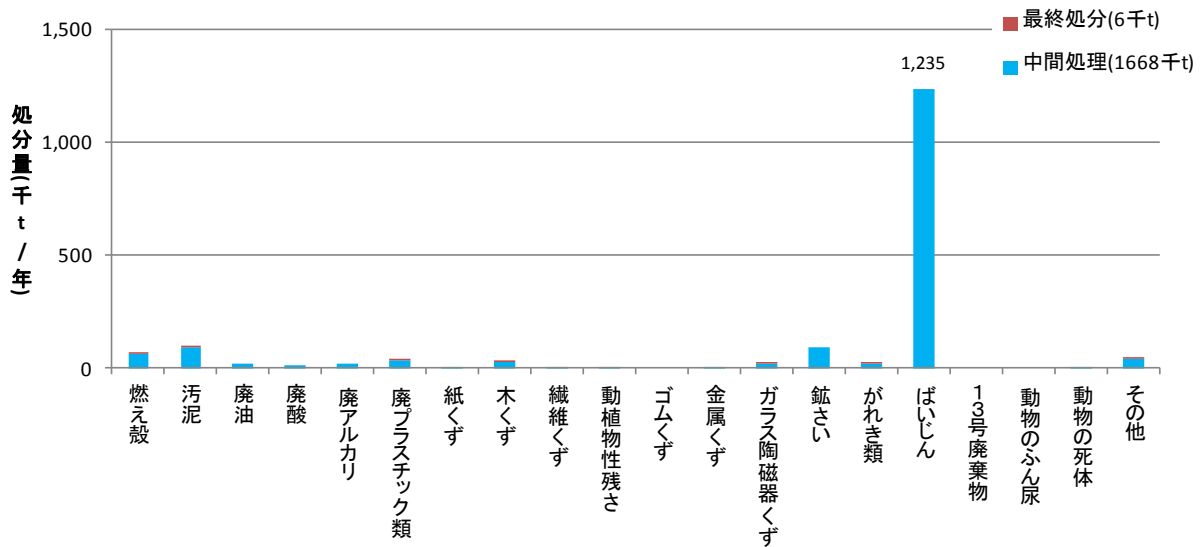


図 3-4 県外へ搬出された産業廃棄物の種類別処分実績

表3-1 産業廃棄物中間処理業・最終処分業・県外へ排出された収集運搬実績データの集計結果

処理・処分 種類	物流計	県内での処分実績										県外への搬出															
		中間処理業					最終処分業					中間処理					最終処分										
		計		県外搬入		県内搬出		計		県外搬入		県内搬出		計		県外搬入		県内搬出		計		県外搬入		県内搬出			
		うち焼却 重量	(A)	(7)	(C+E)	処理後の収支(推計) *再処理に伴う収支を含む 資源化 減量化	県外搬入 処理業者からの残量	県内搬出 処理業者からの残量	計	(B)	(F)	(D+E)	(7)	処理後の収支(推計) *再処理に伴う収支を含む 資源化 減量化	県外搬入 処理業者からの残量	県内搬出 処理業者からの残量	計	(E)	(H)	(G)	処理後の収支(推計) *再処理に伴う収支を含む 資源化 減量化	県外搬入 処理業者からの残量	県内搬出 処理業者からの残量	計	(F)	(I)	
合計	5,018,543 (100.0%)	2,863,059 (57.0%)	3,198,411 (64.4%)	142,894 (2.8%)	398,491 (7.9%)	2,634,287 (52.5%)	155,075 (3.1%)	481,562 (9.6%)	243,649 (4.9%)	91,103 (1.8%)	146,811 (2.9%)	900 (0.0%)	1,673,922 (33.4%)	1,408,520 (28.1%)	1,580,015 (31.5%)	88,153 (1.8%)	23,171 (0.5%)	1,532,195 (30.5%)	112,803 (2.2%)	5,753 (0.1%)	3,686 (0.1%)	2,167 (0.0%)					
燃え殻	153,251	19,112	77	14,731	158	4,222	25	19,036	51	71,657	22,455	26,441	62,481	62,478	53,521	54,896	7,582	45	62,359	74	4	4					
汚泥	325,335	134,341	31,975	99,788	10,290	24,283	12,917	74,099	47,326	100,193	54,269	15,228	90,802	88,564	38,529	81,729	6,835	6,911	40,538	41,115	2,238	2,238					
廃油	51,372	36,037	31,114	13,435	242	22,360	1,602	4,984	29,452				15,335	15,335	5,083	14,398	937	69	8,637	6,629							
廃酸	64,316	53,329	4,633	3,012	3	50,315	262	48,139	4,928				10,987	10,987	2,287	10,813	174	101	572	10,314							
廃アルカリ	37,492	16,884	15,119	13,017	28	3,839	778	30	16,077				20,608	20,608	3,890	18,896	1,712	170	3,457	16,981							
焼プラスチック類	212,110	107,180	22,406	86,010	8,650	12,519	12,480	74,941	19,759	69,733	10,549	15,422	35,198	34,166	10,374	18,098	16,068	4,993	24,353	4,820	1,031	2	1,029				
紙くず	6,327	5,323	2,933	3,489	591	1,263	804	1,760	2,759	2	1	0	1,001	1,001	101	123	877	86	480	435							
木くず	160,619	136,383	14,983	117,050	4,654	14,679	3,281	118,984	14,118	75	15	47	24,162	23,545	6,235	21,133	2,412	2,185	15,739	5,621	617	617					
繊維くず	1,395	1,321	503	1,139	180	2	235	552	534	2	2		73	73	14	37	35	12	48	12							
動植物性廃さ	19,025	15,451	649	12,103	1	3,347	94	14,829	527	579	579		2,995	2,995	406	2,995	100	2,758	137								
動物系固形不要物																											
ゴムくず	9	2	2	2			0	0	2	7	7																
金属くず	35,990	30,343	917	26,777	2,533	1,033	246	29,829	267	1,144	949	3	4,503	4,503	27	4,009	494	191	4,313								
ガラス陶磁器くず	187,223	140,844	546	121,265	9,716	9,863	8,738	131,768	339	29,021	17,327	6,512	17,356	15,859	4,802	6,735	9,124	4,017	11,839	3	1,499	620	879				
鉱さい	122,160	20,513	12,585	16,554		3,959	3	20,499	11	10,496	5,513	3,609	91,151	91,151	67,010	87,570	3,581	149	91,002								
がれき類	1,932,256	1,840,990	744	1,718,366	87,850	34,774	14,381	1,826,326	284	72,916	33,411	19,870	18,350	18,004	5	5,646	12,358	1,136	16,868								
ばいじん	1,483,392	132,127	35,800	37,778	5,848	88,501	129	131,472	526	115,867	97,372	2,611	1,235,398	1,235,398	1,187,253	1,225,457	9,941	2	1,235,389	8							
13号廃棄物	4,139									4,139																	
動物のふん尿	6,172	6,172					6,172																				
動物の死体	2,068												2,068	2,068	1,009	2,068	188	1,126	754								
その他	213,892	166,707	144,856	31,026	12,149	123,552	17,723	130,868	18,115	5,733	1,203	1,204	41,452	41,433	28,975	25,412	16,021	2,816	12,717	25,901	19	19					
感染性廃棄物	10,309	9,707	9,627	4,179	0	5,527	1,773	62	7,872				602	602	292	602	340			263							
混合廃棄物	166,864	151,157	130,928	23,940	12,031	115,186	14,641	6,803	5,733	1,203	1,204	1,204	9,974	9,955	8,690	2,117	7,839	1,073	1,876	7,007	19	19					
その他	36,718	5,842	4,301	2,906	118	2,819	1,309	1,093	3,441				30,876	30,876	19,994	22,693	8,183	1,403	10,841	18,632							

3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理

県内の中間処理施設で処理された実績量を処理地区別及び委託元である発生地区別にみると、**図 3-5**～**図 3-6** 及び**表 3-3**～**表 3-4** とおりである。

県内の中間処理業者の中間処理量 2,863 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 1,018 千トンで最も多く、以下、県北地区が 432 千トン、郡山市が 311 千トン、県中地区が 282 千トン、相双地区が 279 千トン、会津地区が 274 千トン、県南地区が 230 千トン等となっている。**(図 3-5、表 3-2)**

県内の中間処理施設で処理された実績量を委託元である発生地区別にみると、県内では、いわき市が 719 千トンで最も多く、以下、県北地区が 417 千トン、相双地区が 331 千トン、県中地区が 266 千トン、郡山市が 217 千トン、会津地区が 202 千トン、県南地区が 184 千トン等となっている。**(図 3-6、表 3-3)**

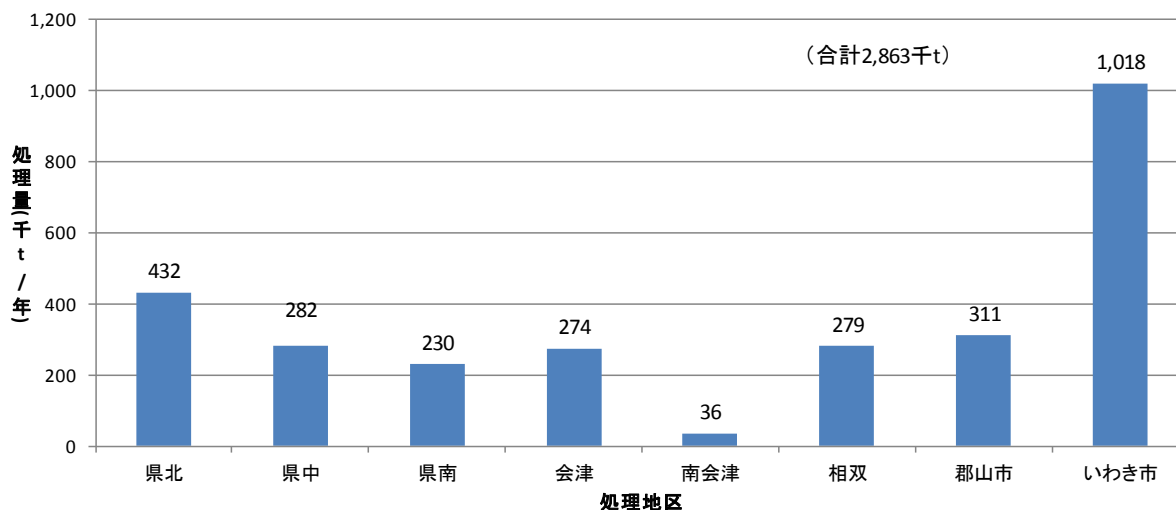
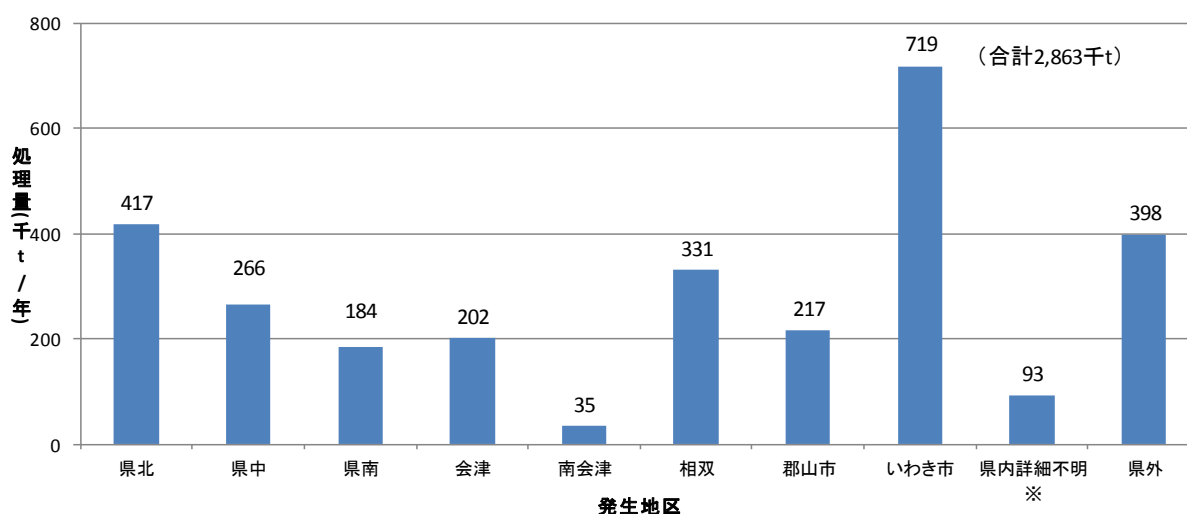


図 3-5 処理地区別の中間処理量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの。

図 3-6 発生地区別の中間処理量

表 3-2 県内の中間処理業者の処理地区別処分実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果)

(単位: t/年)

種類	処理地区	県内計								
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	郡山市	いわき市	
合計		2,863,059	431,668	282,489	230,445	274,250	35,578	279,291	311,390	1,017,947
燃え殻		19,112	3,723			31		13,679		1,680
汚泥		134,341	21,448	13,289	10,474	17,818	92	17,467	30,525	23,229
廃油		36,037	545		3,376	14,043		71	3,887	14,114
廃酸		53,329		18	295	2,207		182	611	50,015
廃アルカリ		16,884			4,055	4,734		1		8,095
廃プラスチック類		107,180	43,498	7,948	7,930	10,851	279	4,470	11,391	20,814
紙くず		5,323	441	359	254	1,272	40	816	1,491	650
木くず		136,383	21,768	28,106	18,936	14,392	3,686	7,811	9,192	32,491
繊維くず		1,321	511	14	47	52	20	158	274	245
動植物性残さ		15,451	4,669	6,580	3,582	22		312	180	106
動物系固形不要物										
ゴムくず		2								2
金属くず		30,343	2,993	9,221	1,059	194	291	678	4,138	11,768
ガラス陶磁器くず		140,844	26,855	4,591	15,249	14,899	3,083	8,687	11,319	56,163
鉱さい		20,513	3,541		13,838	14			959	2,161
がれき類		1,840,990	284,974	210,687	149,766	151,848	28,084	224,413	234,334	556,883
ばいじん		132,127	2,708			38,143				91,276
13号廃棄物										
動物のふん尿		6,172	4,589		1,583					
動物の死体										
その他		166,707	9,405	1,675		3,731	2	547	3,090	148,257
感染性廃棄物		9,707				1,758		71	80	7,798
混合廃棄物		151,157	9,332	1,675		464	2	474	3,010	136,201
その他		5,842	73			1,509		3		4,257

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	郡山市	いわき市	県内地域 ※詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県
合計	2,863,059 (100.0%)	417,407 (14.6%)	266,059 (9.3%)	184,403 (6.4%)	201,737 (7.0%)	35,039 (1.2%)	330,745 (11.6%)	216,944 (7.6%)	719,001 (25.1%)	93,233 (3.3%)	398,491 (13.9%)	2,010 (0.1%)	2,204 (0.1%)	69,702 (2.4%)	107 (0.0%)
燃え殻	19,112	4		2	4	1	14,614	84	181		4,222			105	
汚泥	134,341	22,615	6,883	10,778	10,229	1,326	7,158	22,159	25,069	3,842	24,283	2	47	880	1
廃油	36,037	1,762	1,089	1,044	2,384	60	1,764	2,488	3,052	34	22,360	56	993	1,386	0
廃酸	53,329	383	53	183	309	6	786	71	1,224	1	50,315	0	593	30	27
廃アルカリ	16,884	472	706	1,851	3,783	4	2,422	1,000	2,794	14	3,839	5	11	373	6
廃プラスチック類	107,180	35,609	5,078	4,273	7,799	692	6,542	14,755	19,707	205	12,519	2	199	4,324	10
紙くず	5,323	661	229	235	62	65	1,151	1,023	633	2	1,263			1,254	
木くず	136,383	29,783	12,876	10,155	14,864	3,163	13,533	16,784	19,782	764	14,679		45	5,337	
繊維くず	1,321	375	48	69	92	63	185	230	252	4	2				
動植物性残さ	15,451	1,609	1,676	1,217	158	137	4,032	171	3,106		3,347			981	
動物系固形不燃物															
ゴムくず	2		2												
金属くず	30,343	4,586	4,203	1,487	510	336	1,810	4,749	11,602	28	1,033	23	134	300	62
ガラス陶磁器くず	140,844	27,428	11,751	7,280	14,816	1,996	20,348	14,138	32,856	367	9,863		3	2,858	0
鉱さい	20,513	3,182	508	10,055	342		1,564	30	874		3,959			3,694	
がれき類	1,840,990	276,597	217,407	133,716	142,041	27,235	252,481	132,141	540,343	84,255	34,774			20,139	
ばいじん	132,127	0		66	1,057	1	99	0	42,402		88,501	1,919		24,509	
13号廃棄物															
動物のふん尿	6,172	4,589		1,583											
動物の死体															
その他	166,707	7,751	3,551	409	3,288	90	6,152	3,261	18,060	613	123,532	3	180	3,532	1
感染性廃棄物	9,707	1,045	133	55	816	23	149	758	1,202		5,527		0	1,122	1
混合廃棄物	151,157	6,671	3,417	350	1,008	67	5,934	2,483	15,432	610	115,186		155	2,140	
その他	5,842	35	2	4	1,465	0	69	20	1,426	2	2,819	3	25	270	

(単位：t/年)

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

種類	発生地区																
	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
合計	4,272 (0.1%)	-	88,475 (3.1%)	47,304 (1.7%)	30,609 (1.1%)	37,700 (1.3%)	42,569 (1.5%)	13,751 (0.5%)	14,464 (0.5%)	27,394 (1.0%)	7,615 (0.3%)	47 (0.0%)	75 (0.0%)	466 (0.0%)	1,778 (0.1%)	107 (0.0%)	5,331 (0.2%)
燃え殻	2	-	5	4	2,356	12		18	1	1,717							1
汚泥	426	-	2,726	2,324	2,853	3,204	816	305	1,038	4,307	307	37	36	85	1,300	27	2,704
廃油	721	-	4,244	1,314	2,344	1,242	2,467	1,003	1,126	2,961	875	6	0	12	14	6	1,072
廃酸	748	-	47,645	259	7	25	406	88	60	5	129	3	0	157	2	5	45
廃アルカリ	307	-	1,229	198	25	69	276	54	155	475	2	0	0	172	4	1	270
廃プラスチック類	276	-	864	1,950	28	61	185	191	3,004	1,128	81	1		3	46	62	48
紙くず		-	4	4				1									
木くず	340	-	3,587	1,381	552	381	1,584	924	120	427							
繊維くず		-		2													
動植物性残さ		-	67			2,274				0				20			5
動物系固形不要物		-															
ゴムくず		-															
金属くず	112	-	133	163	51	1	16	5	5	4	0			0	0	6	2
ガラス陶磁器くず	113	-	3,240	1,447	1,508	5	15	548	76	19	0			16	2		0
鉱さい		-	136	14		115											
がれき類	48	-	1,647	242	27	1,700	7,491	3,408		72							
ばいじん	13	-	10,832	8,915	1,510	11,616	5,165	5,318	2,658	11,430	4,574				43		
13号廃棄物		-															
動物のふん尿		-															
動物の死体		-															
その他	1,166	-	12,117	29,086	19,349	16,996	24,148	1,890	6,221	4,851	1,647		39		367		1,184
感染性廃棄物	50	-	2,175	912	10	40	241	165	493	316			0				4
混合廃棄物		-	9,893	28,154	19,288	16,764	23,843	1,443	5,645	4,270	1,611				296		1,144
その他	1,116	-	50	19	52	193	64	282	84	265	37		39		71		37

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）〈その3〉

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																	
	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	
合計	731 (0.0%)	856 (0.0%)	45 (0.0%)	24 (0.0%)	408 (0.0%)	253 (0.0%)	14 (0.0%)	22 (0.0%)	1 (0.0%)	50 (0.0%)	2 (0.0%)	2 (0.0%)	8 (0.0%)		3 (0.0%)	4 (0.0%)		
燃え殻																		
汚泥	134	355	26	15	123	186	6	3			0	1	0		0	0		0
廃油	8	265	3	4	183	40	4	5	1		1	0			2	3		3
廃酸	6	7	10	0	32	23	1				0				1	0		0
廃アルカリ	1	181	1	0	21	4	1				0							0
廃プラスチック類	36	13	6				2	0				0	1					0
紙くず																		
木くず	1																	
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず	5	1					0					0	6					
ガラス陶磁器くず							0	14	0						0			
鉱さい																		
がれき類																		
ばいじん																		
13号廃棄物																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
その他	540	34	0	4	49	0				50		1	1					0
感染性廃棄物					0													
混合廃棄物	467																	
その他	73	34	0	4	49					50		1	1					0

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計	3 (0.0%)	1 (0.0%)				0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	73 (0.0%)
燃え殻									
汚泥							0		
廃油		1							
廃酸									
廃アルカリ									
廃プラスチック類									
紙くず									
木くず									
繊維くず									
動植物性残さ									
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず	3								
ガラス陶磁器くず									
鉱さい									
がれき類									
ばいじん									
13号廃棄物									
動物のふん尿									
動物の死体									
その他						0			73
感染性廃棄物									
混合廃棄物									73
その他						0			

3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分

最終処分場で処分された実績量を処理地区別にみると、図 3-7～図 3-8 及び表 3-4～表 3-5 とおりである。

県内の最終処分業者の最終処分量 482 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 187 千トンで最も多く、以下、県北地区が 147 千トン、相双地区が 119 千トン等となっている。(図 3-7、表 3-4)

県内の最終処分場で処分された実績量を委託元である発生区別にみると、県外が 147 千トンで最も多く、以下、相双地区が 141 千トン、いわき市が 75 千トン、会津地区が 31 千トン、郡山市が 29 千トン、県北地区が 25 千トン、県中地区が 18 千トン等となっている。(図 3-8、表 3-5)

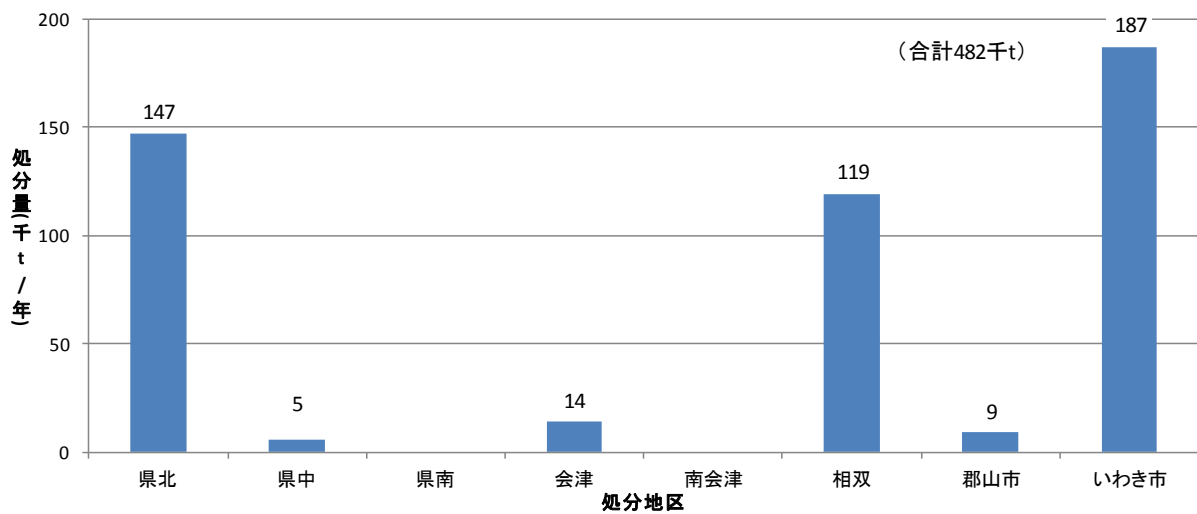
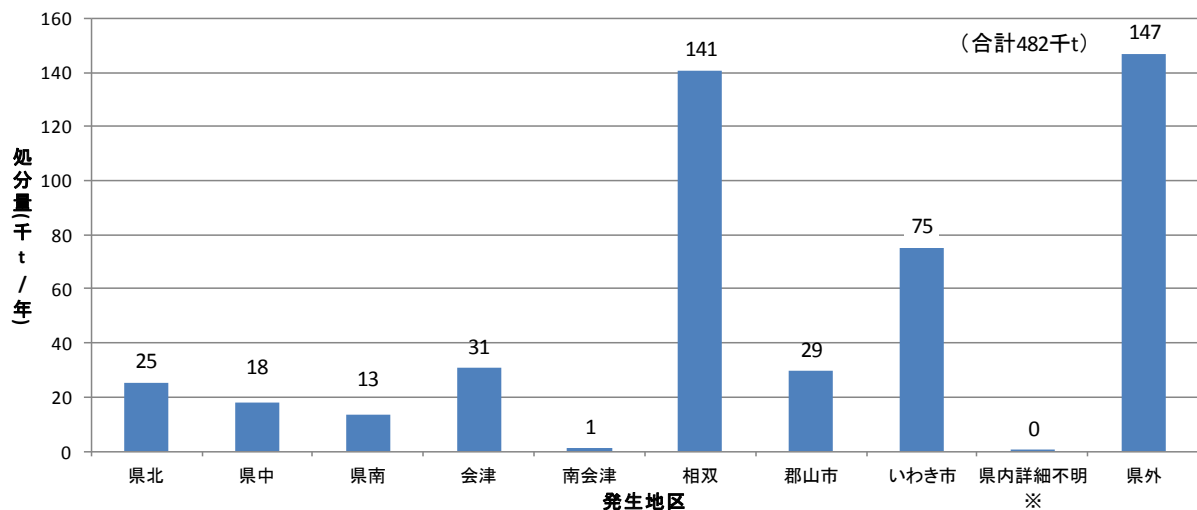


図 3-7 処分地区別の県内の最終処分業者による処分量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの

図 3-8 発生地区別の最終処分業者による処分量

表 3-4 県内の最終処分業者の処分地区別処分実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果)

(単位: t/年)

種類	処分地区	県内計								
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	郡山市	いわき市	
合計		481,562	146,980	5,446		13,722		119,326	8,882	187,206
燃え殻		71,657	32,189			2,261		18,375	127	18,706
汚泥		100,193	59,434			4,562		3,991	3,314	28,892
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類		69,733	2,620	2,822		65		16	1,668	62,541
紙くず		2	1							1
木くず		75	4			3				68
繊維くず		2								2
動植物性残さ		579				74			505	
動物系固形不要物										
ゴムくず		7	7							
金属くず		1,144	535	15		176			106	312
ガラス陶磁器くず		29,021	9,163	318		2,209		7	138	17,186
鉱さい		10,496	6,619			591			350	2,936
がれき類		72,916	18,907	1,138		3,073		94	2,670	47,034
ばいじん		115,867	13,362			708		96,842	6	4,949
13号廃棄物		4,139	4,139							
動物のふん尿										
動物の死体										
その他		5,733		1,153						4,580
	感染性廃棄物									
	混合廃棄物	5,733		1,153						4,580
	その他									

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県
合計	481,562 (100.0%)	25,475 (5.3%)	17,950 (3.7%)	13,470 (2.8%)	30,821 (6.4%)	1,042 (0.2%)	140,708 (29.2%)	29,475 (6.1%)	75,377 (15.7%)	435 (0.1%)			1,154 (0.2%)	3,029 (0.6%)	
燃え殻	71,657	659	221	1,020	10,284	3	19,587	2,353	14,757	12			210	1,990	
汚泥	100,193	3,619	3,292	4,101	7,078	216	12,570	7,600	30,934	87			283	47	
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
廃プラスチック類	69,733	7,433	6,749	1,499	144	85	1,136	1,850	7,070	5				1	
紙くず	2								2						
木くず	75				3				25						
繊維くず	2								2						
動植物性残渣	579	58	501		20										
動物系固形不要物															
ゴムくず	7	7													
金属くず	1,144	377	97	216	142	18	9	26	251	3					
ガラス陶磁器くず	29,021	3,084	2,598	1,114	2,230	306	4,458	3,719	6,278	52				204	
鉱さい	10,496	1,436	224	1,345	4,561	93	655	178	629						
がれき類	72,916	8,613	3,931	3,295	4,912	295	4,496	13,426	14,041	272					
ばいじん	115,867	65		707	1,431		97,538	6	230	4			661	787	
13号廃棄物	4,139													4,139	
動物のふん尿															
動物の死体															
その他	5,733	125	336	172	16	27	258	315	1,158						
感染性廃棄物															
混合廃棄物	5,733	125	336	172	16	27	258	315	1,158						
その他															

(単位：t/年)

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

発生地区	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
種類																	
合計		-	4,983 (1.0%)	15,998 (3.3%)	37,393 (7.8%)	45,139 (9.4%)	7,604 (1.6%)	16,824 (3.5%)	12,243 (2.5%)	1,790 (0.4%)				1 (0.0%)	621 (0.1%)		21 (0.0%)
燃え殻		-	5	4,743	1,493	9,185	781	2,374	1,532	447							
汚泥		-	632	231	4,952	20,796	1,326	844	1,448	135							
廃油		-															
廃酸		-															
廃アルカリ		-															
廃プラスチック類		-	1,992	154	25,401	4,032	2,066	4,330	4,261	904					621		
紙くず		-		0													
木くず		-		1				46									
繊維くず		-															
動植物性残さ		-															
動物系固形不要物		-															
ゴムくず		-															
金属くず		-		3													
ガラス陶磁器くず		-	1,285	351	879	664	11	127	1,536	104							21
鉱さい		-		813	59	258		244									
がれき類		-	843	693	394	7,177	926	7,383	2,005	200				1			
ばいじん		-		5,603	1,244	2,894	2,492	1,477	726								
13号廃棄物		-		3,404					735								
動物のふん尿		-															
動物の死体		-															
その他		-	225		2,970	132											
感染性廃棄物		-															
混合廃棄物		-	225		2,970	132											
その他		-															

表3-3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）〈その3〉

(単位：t/年)

発生地区	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
種類																	
合計					11 (0.0%)												
燃え殻																	
汚泥																	
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類																	
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不燃物																	
ゴムくず																	
金属くず																	
ガラス陶磁器くず																	
鉱さい																	
がれき類					11												
ばいじん																	
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他																	
感染性廃棄物																	
混合廃棄物																	
その他																	

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞
 (単位：t/年)

種類	発生地区									
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明	
合計										
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラス陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他										
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他										

第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績

4.1 多量排出事業者等における報告状況

平成28年度における多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告書の提出数をみると、表4-1及び表4-2のとおりである。

多量排出事業者の実施報告は290事業者、指定排出事業者の実績報告は29業者となっている。また、その他年間の発生量が500t未満の事業者の報告が32件あった。

表4-1 多量排出事業者等における平成27年度の実績報告状況

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者									(報告数)	
	計	産業廃棄物多量排出事業場				特別管理産業廃棄物多量排出事業場				適正化条 例に基づ く指定排 出事業者	その他
		小計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	小計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市		
農業・林業											
漁業											
鉱業											
建設業	107	106	76	16	14	1	1			15	4
製造業	143	83	56	7	20	60	35	11	14	12	19
電気・ガス・水道業	27	27	17	3	7					2	1
情報通信業	1	1	1								
運輸・郵便業	1					1		1			1
卸・小売業											
金融・保険業											
不動産業・物品賃貸業											
専門サービス業											
宿泊業・飲食サービス業											
生活関連サービス業	1	1	1								
教育・学習支援業											
医療・福祉業	8					8	5	1	2		7
複合サービス業											
サービス業	2	2	1	1							
公務											
計	290	220	152	27	41	70	41	13	16	29	32

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

多量排出事業者における平成28年度の発生量の目標値の報告数は表4-2のとおりであり、産業廃棄物に係るものが212事業者、特別管理産業廃棄物に係るものが71事業者の合計283事業者となっている。

表 4-2 多量排出事業者等における平成 27 年度の発生量の目標値の報告数

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者									(報告数)
	計	産業廃棄物多量排出事業場				特別管理産業廃棄物多量排出事業場				適正化条 例に基づ く指定排 出事業者
		小計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	小計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	
農業・林業										
漁業										
鉱業										
建設業	99	99	70	15	14					13
製造業	142	83	56	8	19	59	31	11	17	12
電気・ガス・水道業	30	28	18	3	7	2	1		1	2
情報通信業	1	1	1							
運輸・郵便業	2					2		1	1	
卸・小売業										
金融・保険業										
不動産業・物品賃貸業										
専門サービス業										
宿泊業・飲食サービス業										
生活サービス業										1
教育・学習支援業										
医療・福祉業	8					8	5	1	2	
複合サービス業										
サービス業	1	1	1							1
公務										
計	283	212	146	26	40	71	37	13	21	29

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性

平成28年度における多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告で集計した排出量（発生量－有価物量）をみると、**図4-1～図4-2、表4-3～表4-4**のとおりである。

排出量5,858千トン種類別にみると、汚泥が最も多く、以下、ばいじん、がれき類等となっている。（**図4-1、表4-3**）

排出量を業種別にみると、製造業が最も多く、以下、電気・ガス・水道業、建設業等となっている。（**図4-2、表4-4**）

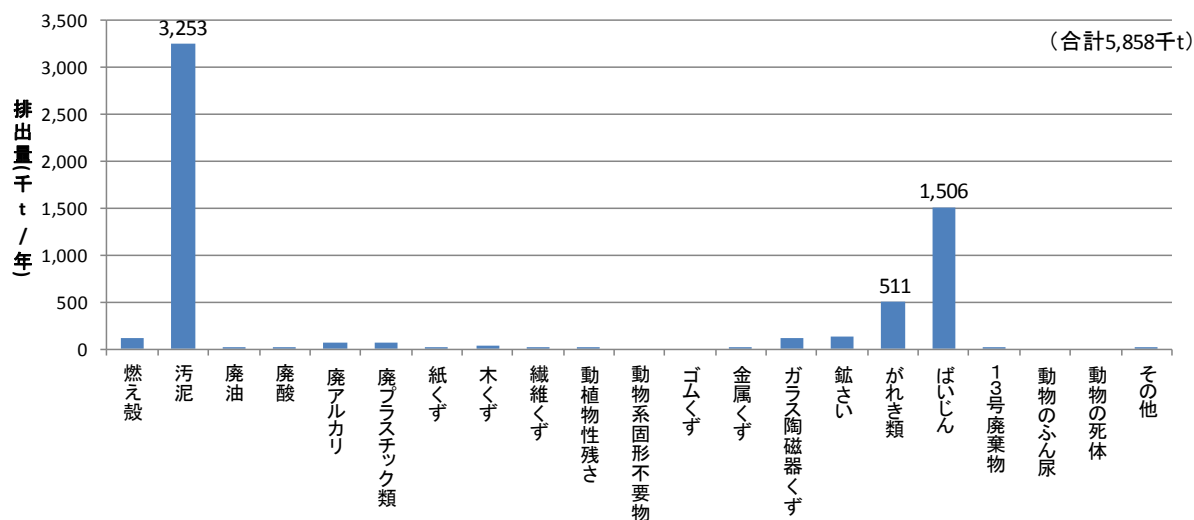


図4-1 多量排出事業者等の種類別の産業廃棄物排出量

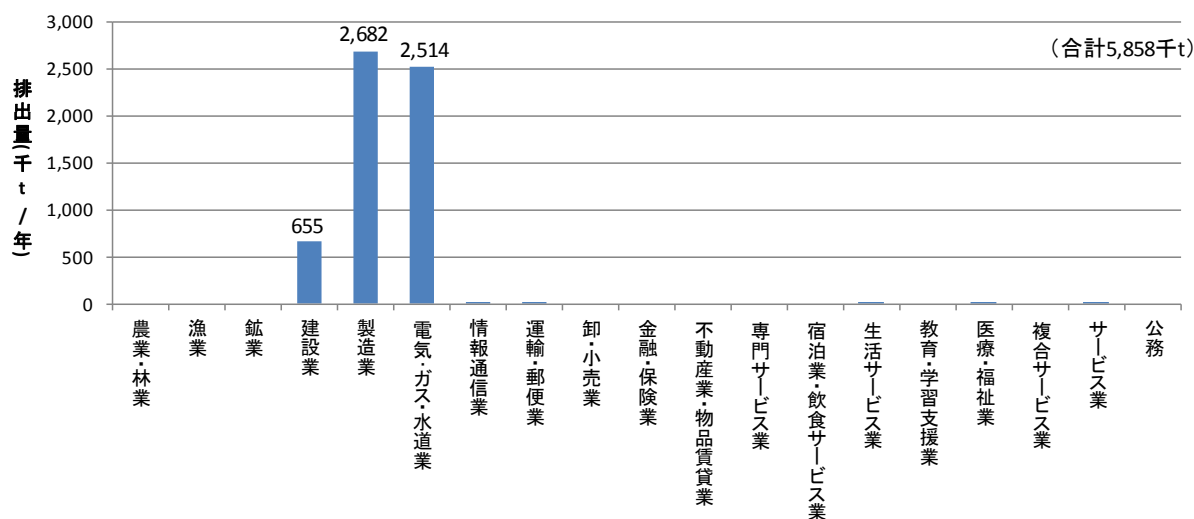


図4-2 多量排出事業者等の業種別の産業廃棄物排出量

表4-3 産業廃棄物の種類別にみた多量排出事業者等の発生量及び処理・処分量（事業系一般廃棄物を除く）

処理・処分 種類	処理状況										委託処理			総括						
	自社処理					委託処理					排出量	減量化量	再生利用量	最終処分量						
	発生量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理 中間処理量	減量化量	残さず	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処分 量	委託処理量					委託中間処理量	減量化量	残さず	再生利用量	最終処分 量	
											委託直接最 終処分量	委託最終処 分量	減量化率	再生利用率						最終処分量
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)						
合計	6,123 (100.0%)	266 (4.3%)	29 (0.5%)	176 (2.9%)	3,346 (54.6%)	3,092 (50.5%)	254 (4.2%)	77 (1.3%)	70 (1.1%)	2,427 (39.6%)	2,198 (35.9%)	170 (2.8%)	2,029 (33.1%)	1,990 (32.5%)	39 (0.6%)	201 (3.3%)	5,858 (95.7%)	3,276 (53.5%)	2,096 (34.2%)	485 (7.9%)
燃え殻	160	45		14	0	0	0	0	0	100	81	1	81	81	0	19	115	1	81	33
汚泥	3,418	165		6	3,175	3,007	169	0	69	188	132	58	75	69	5	45	3,253	3,058	69	126
廃油	18	2	2		2	2				13	11	7	4	3	1	1	16	10	5	1
廃酸	24	1	0		13	13	0			10	10	6	3	2	1	1	23	18	3	3
廃アルカリ	60		1		34	33	1	0		26	24	20	4	2	1	0	60	55	4	2
廃プラスチック類	65	4	0	0	42	37	5	3		21	19	3	16	13	3	2	61	40	17	4
紙くず	8	5			1	0	1	1		2	2	0	1	1	0	0	3	0	2	1
木くず	39	0			5	1	4	4		35	34	4	30	28	2	0	39	5	32	2
繊維くず	0				0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物性残渣	6	0								6	5	1	5	5	0	1	6	1	5	1
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	25	14	5	0	1	1	1	1		5	4	1	4	3	0	0	11	1	9	1
ガラス陶磁器くず	114	0	2	0	4	0	4	3	1	108	91	3	88	85	3	17	114	3	90	21
紙さい	137	7			19	19	19	15		115	111	4	107	104	3	3	130	5	118	6
がれき類	514	3		1	50	0	50	50		460	437	60	377	360	17	10	511	73	410	27
ばいじん	1,526	20	18	155	0	0	0	0		1,331	1,232		1,232	1,232	0	99	1,506	2	1,250	253
13号廃棄物	0									0							0			0
動物のふん尿																				
動物の死体																				
その他	8	0			0		0			8	6	3	3	2	2	2	8	3	2	4
感染性廃棄物	2									2	1	1	1	0	1	0	2	1	0	1
混合廃棄物	6	0			0		0			6	4	2	2	1	1	2	6	2	1	3
その他	1	0								1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0

表4-4 業種別にみた多量排出事業者等の産業廃棄物発生量及び処理・処分量（事業系一般廃棄物を除く）

(単位：千t/年)

処理・処分	処理状況										委託処理				総括					
	自社処理					委託処理					排出量	減量化量	再生利用量	最終処分量						
	発生量	有面物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残存量	中間処理 後の自己 利用・売却 量	中間処理 後の自己 最終処分 量	委託処理量					委託中間処理量	減量化量	残存量	再生利用量	最終処分量	
											発生量	有面物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量						中間処理量
業種	6,123	266	29	176	3,346	3,092	254	77	70	2,427	2,198	170	2,029	1,990	201	5,858	3,276	2,096	485	
合計	(100.0%)	(4.3%)	(0.5%)	(2.9%)	(54.6%)	(50.5%)	(4.2%)	(1.3%)	(1.1%)	(39.6%)	(35.9%)	(2.8%)	(33.1%)	(32.5%)	(3.3%)	(95.7%)	(53.5%)	(34.2%)	(7.9%)	
産業・林業																				
漁業																				
卸業																				
建設業	656	0	1	58	596	561	57	56	70	596	561	72	489	464	22	655	87	520	48	
製造業計	2,713	32	10	0	2,357	2,215	142	21	70	335	287	80	206	196	11	42	2,682	2,331	227	123
食料品	21				14	13	1	1		8	7	0	7	7	0	1	21	14	7	1
飲料・飼料	3	0								3	3	1	3	3	0	3	1	1	3	0
繊維	2									2	2	1	1	1	0	2	1	1	1	0
木材																				
家具																				
パルプ・紙	1,478	8		0	1,421	1,385	36	3		52	48	31	17	17	0	3	1,470	1,446	20	4
印刷	19	6	1		7	5	2	2		5	5		5	5	0	13	5	8	0	
化学	806	1	0	0	749	676	74		69	60	50	25	25	21	4	7	805	704	21	79
石油・石炭																				
プラスチック	0									0	0						0			
ゴム	1									1	1		1	1			1			
皮革																				
窯業・土石	78		2		15	12	3	2	1	61	44	3	40	39	1	17	78	17	42	19
鉄鋼	12									12	11	1	10	10	0	1	12	1	10	1
非鉄金属	56		0		44	42	3	0		14	6	4	2	2	1	0	56	46	2	9
金属	20	4			13	13	0			4	3	2	1	1	1	2	16	13	1	3
はん用機器	1									1	1		1	1			1			
生産用機器	3	0								3	2		2	0	0	0	3	2	0	0
業務用機器	60	1	1		52	49	3	0		8	8	2	6	6	0	0	59	51	8	0
電子部品	23				15	14	1			9	7	2	5	4	1	1	23	18	4	1
電気機器	5	0			4	4	0			1	1		1	1			4	4	1	1
情報通信機器	125	11	5		21	2	19	15		91	87	6	81	78	4	2	114	10	98	6
その他製造業	0									0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
電気・ガス・水道業	2,743	230	18	175	929	875	54	0		1,491	1,347	17	1,330	1,329	1	135	2,514	855	1,347	312
電気業	1,875	230	18	175	4	3	0			1,445	1,314	2	1,312	1,311	0	131	1,645	9	1,330	307
ガス業																				
熱供給業																				
上水道業	64				62	58	5			6	2	1	0	0	3		64	61	0	3
工業用水道業																				
下水道業	804				863	813	50	0		40	32	14	18	17	1	1	804	785	17	2
情報通信業	4	4								0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
運輸・郵便業	0									0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
卸・小売業																				
金融・保険業																				
不動産業・物品賃貸業																				
専門サービス業																				
宿泊業・飲食サービス業																				
生活サービス業	3				3	3	0			1	0		1	0	0	0	3	2	0	1
教育・学習支援業																				
医療・福祉業	2				0	0	0			2	1	1	1	1	0	1	2	1	0	1
複合サービス業																				
サービス業	2									2	2		2	2	0	2	2	2	0	0
公務																				

第5章 産業廃棄物の処理状況

5.1 再生利用状況

1 再生利用状況

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量は、表 5-1 及び図 5-1 のとおりであり、種類別（再生利用時点の種類）にみると、がれき類が 1,803 千トン（46%）と最も多く占め、以下、ばいじんが 1,282 千トン（33%）、汚泥が 182 千トン（5%）、燃え殻が 165 千トン（4%）となっている。

業種別にみると、建設業が 2,013 千トン（52%）と最も多く占め、以下、電気・ガス・水道業が 1,351 千トン（35%）、製造業が 336 千トン（9%）等となっている。

表 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

（単位：千t/年）

業種 再生利用 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	3,889 (100%)	94 (2%)	2,013 (52%)	336 (9%)	1,351 (35%)	4 (0%)	6 (0%)	2 (0%)	67 (2%)	17 (0%)
燃え殻	165 (4%)		1	77	78	0	1	0	8	0
汚泥	182 (5%)	94	28	33	15	0	0	0	10	1
廃油	14 (0%)		1	6	0	0	1	0	5	0
廃酸	1 (0%)		0	1		0		0	0	0
廃アルカリ	2 (0%)		0	2		0	0	0	0	0
廃プラスチック類	78 (2%)		15	34	0	1	3	1	22	2
紙くず	3 (0%)		2	1						
木くず	123 (3%)		120	2		0	0	0	0	0
繊維くず	1 (0%)		1							
動植物性残さ	14 (0%)			14						
ゴムくず										
金属くず	36 (1%)		17	8	0	0	1	0	9	1
ガラス陶磁器くず	122 (3%)	0	20	81	7	2	1	0	6	5
鉱さい	47 (1%)		0	45	0		0		1	0
がれき類	1,803 (46%)		1,803							
ばいじん	1,282 (33%)		0	30	1,252		0		0	0
動物のふん尿	6 (0%)									6
その他	11 (0%)		6	2		0	0	0	3	0

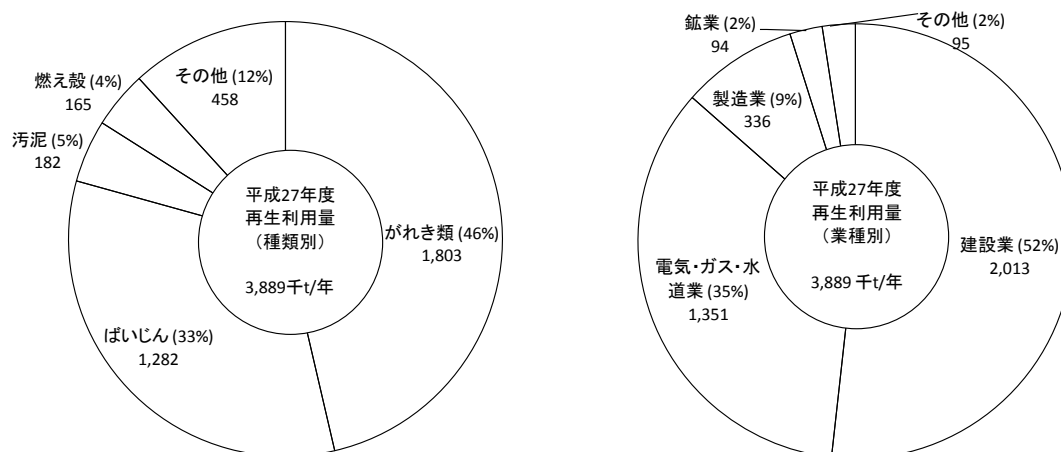


図 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

2 産業廃棄物の資源化状況の解析

産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データから処理状況を整理し産業廃棄物の種類ごとの資源化状況を整理した結果は、**図 5-2** 及び**表 5-2** のとおりである。

なお、ここでは、県内の中間処理業者で中間処理（県外搬入物を含む）、及び県外の中間処理業者で資源化されたものを以下の用途別に集計した。

産業廃棄物の種類別にみると、建設資材が**2,108**千トンで最も多く、以下、セメント原料が**1,298**千トン、工業用原料等が**755**千トン、燃料が**76**千トン、堆肥化が**56**千トンとなっている。

①工業用原料等（755 千トン）

汚泥、廃酸、廃プラスチック、木くず、鉱さい、ばいじん等を工業用原料として再使用又は、再生用途が多様で特定の用途に区分ができないもの及び詳細な用途が不明なもの。

②建設資材（2,108 千トン）

がれき類等を破砕、選別等し、建設資材として資源化。

③セメント原料（1,298 千トン）

セメント工場で原（燃）料として資源化。主に火力発電所のばいじん。

④堆肥化（56 千トン）

堆肥として資源化。主に有機性汚泥や動植物性残さ。

⑤燃料（76 千トン）

破砕・選別・圧縮等により燃料として資源化。主に廃プラスチック、木くず、廃油。

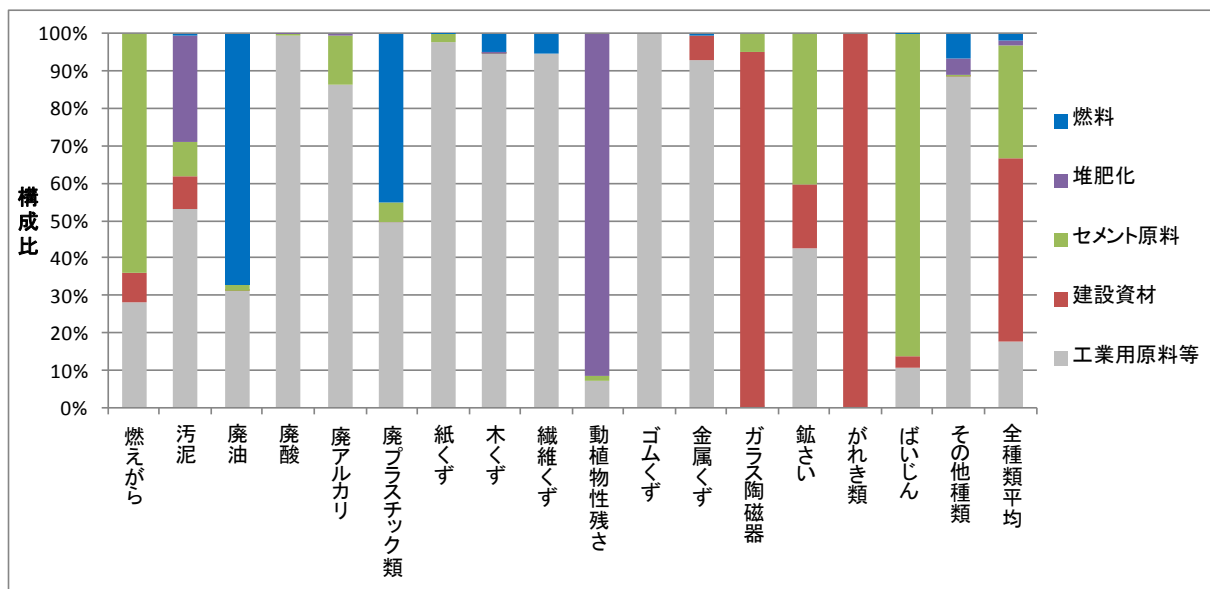


図 5-2 産業廃棄物の資源化の状況

表 5-2 種類別及び資源化用途別の資源化状況

(千t/年)

種類 \ 用途	工業用 原料等	建設資材	セメント 原料	堆肥化	燃料	その他	計
燃えがら	23	7	52				81
汚泥	61	10	10	33	0		115
廃油	4	0	0		9		14
廃酸	49		0	0			49
廃アルカリ	3		0	0			3
廃プラスチック類	50	0	5		45		101
紙くず	3		0		0		3
木くず	201	0	1	0	11		212
繊維くず	1				0		1
動植物性残さ	1		0	17			19
ゴムくず	0						0
金属くず	32	2			0		35
ガラス陶磁器	0	93	5				98
鉱さい	47	19	45				112
がれき類		1,934					1,934
ばいじん	147	41	1,178		0		1,367
その他種類	134	0	1	6	10		151
計	755	2,108	1,298	56	76		4,293

5.2 最終処分の状況

1 最終処分量

種類別及び業種別の産業廃棄物の最終処分量は、表 5-3 及び図 5-3 のとおりである。

種類別（処分時点の種類）にみると、ばいじんが 252 千トン（44%）と最も多く、以下、汚泥が 138 千トン（24%）、燃え殻が 53 千トン（9%）、がれき類が 49 千トン（9%）となっている。

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 320 千トン（56%）と最も多く、以下、建設業が 111 千トン（20%）、製造業が 108 千トン（19%）等となっている。

表 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

(単位：千t/年)

業種 処分 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	570 (100%)	0 (0%)	111 (20%)	108 (19%)	320 (56%)	1 (0%)	1 (0%)	2 (0%)	23 (4%)	4 (1%)
燃え殻	53 (9%)		6	6	37	0	0	1	2	2
汚泥	138 (24%)		18	83	27	0	0	0	9	1
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	23 (4%)		11	7	0	0	0	0	4	0
紙くず	0 (0%)		0	0						
木くず	3 (1%)		3	0					0	0
繊維くず	0 (0%)		0							
動植物性残さ	1 (0%)			1						
ゴムくず	0 (0%)		0	0					0	
金属くず	1 (0%)		1	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	29 (5%)	0	13	6	4	0	0	0	5	0
鉱さい	6 (1%)		0	5					0	
がれき類	49 (9%)		49	0						
ばいじん	252 (44%)		0	0	252		0	0	0	0
動物のふん尿										
その他	15 (3%)		11	1	0	0	0	0	2	0

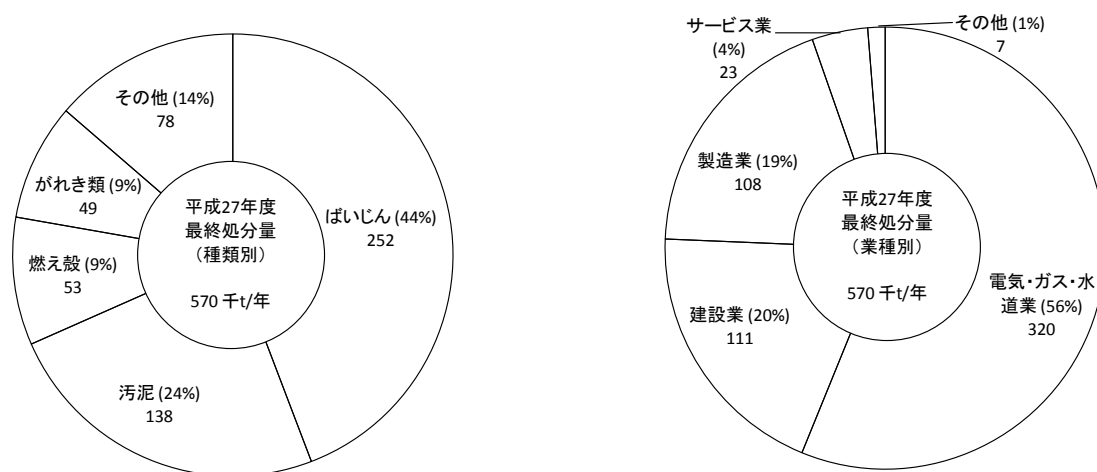


図 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

2 最終処分場残余年数の推計

県内の産業廃棄物処理業者から報告のあった最終処分場の残余容量と処分実績量の関係から、平成 28 年 3 月 31 日時点の最終処分場の残余年数を推計した結果は、以下のとおりである。

なお、残余年数の推計においては、自社処分場及び特定の事業場から排出された産業廃棄物のみを受け入れている最終処分場は除外した。

(1) 最終処分場の稼働状況

平成 28 年 3 月 31 日時点における最終処分場の稼働状況は、表 5-4 のとおりである。

最終処分場の残余容量がある施設は 22 施設であり、管理型が 9 施設、安定型が 13 施設となっている。

これらの残余容量は、3,035 千 m^3 となっており、管理型が 1,148 千 m^3 、安定型が 1,887 千 m^3 となっている。

表 5-4 最終処分場の稼働状況（平成 27 年 3 月 31 日時点）

	計	県北地区	郡山市を除く 県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	郡山市	いわき市
施設数 計	22	7	2		2		1	1	9
管理型	9	3	1		2			1	2
安定型	13	4	1				1		7
残余容量 計(千 m^3)	3,035.3	664.5	270.9		407.7		32.1	23.2	1,636.8
管理型	1,148.4	491.9	27.3		407.7			23.2	198.2
安定型	1,886.9	172.6	243.6				32.1		1,438.5

注) 自社処分場及び特定の事業場から排出された産業廃棄物のみを受け入れている処分場は除く。

(2) 最終処分場の残余年数の推計

平成 28 年 3 月 31 日時点の残余容量と当該最終処分場の平成 27 年度処分実績量は図 5-4 のとおりである。

既存の最終処分場での平成 27 年度処分実績量と同等量が今後も最終処分されるものと仮定し残余年数を推計すると、管理型で 4.7 年、安定型で 13.8 年となっている。

なお、ここでの埋立廃棄物の比重は、1t/ m^3 と設定している。

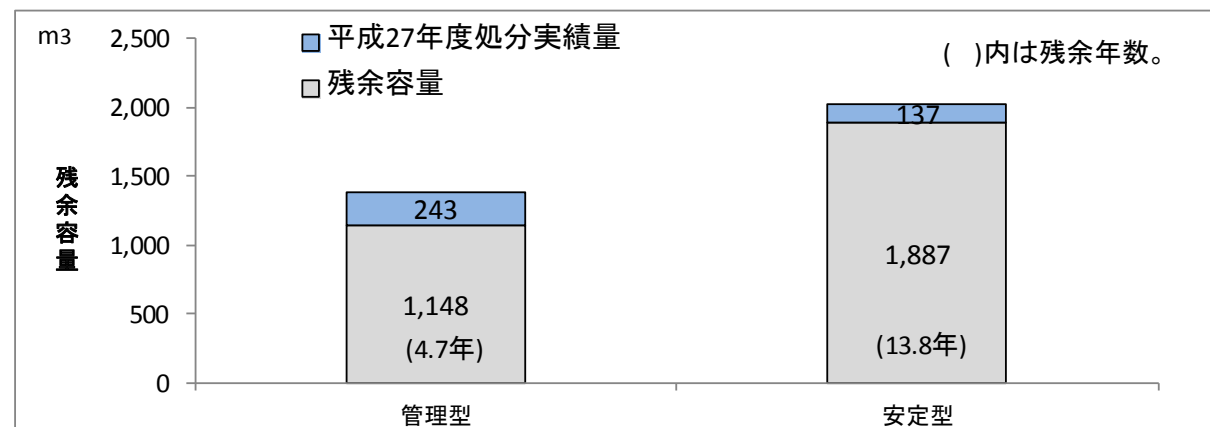


図 5-4 最終処分場の残余年数の推計 (実績量基準)

また、地区別の残余年数をみると図 5-5 のとおりである。残余年数は地区ごとに偏りがみられる。

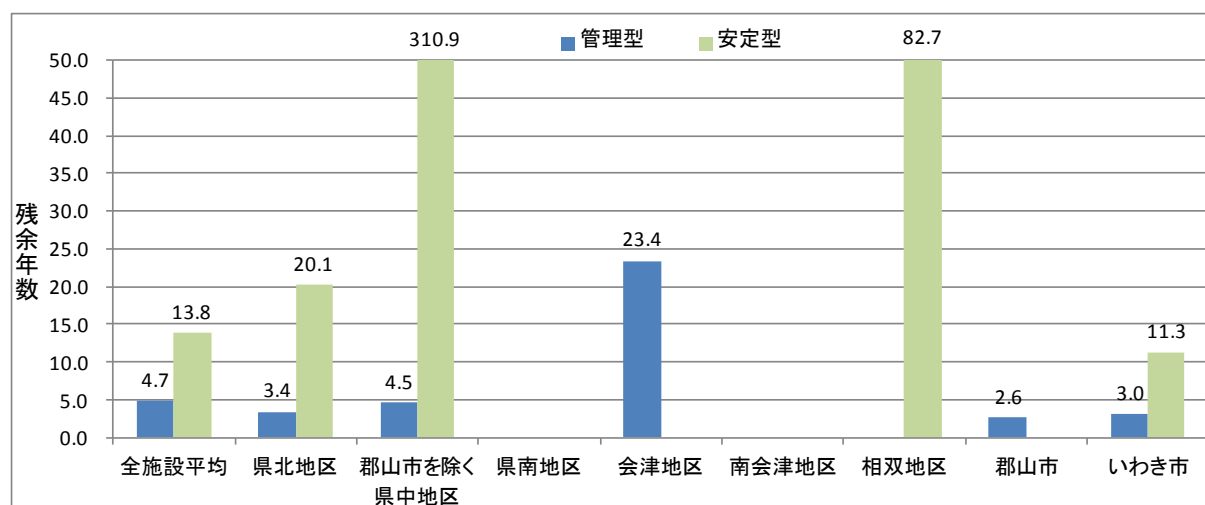


図 5-5 地区別の最終処分場の残余年数の推定（平成 27 年度の最終処分実績を基準）

福島県廃棄物処理計画（平成 27 年 3 月）では、平成 24 年度の最終処分率 12%を平成 32 年度に 8%以下とする削減目標を設定している。

平成 27 年度の最終処分率は 7%と目標を達成しており、平成 27 年度以降の最終処分量が平成 27 年度と同等量で推移すると仮定すると、既存の最終処分場の残余年数は前述のとおり管理型で 4.7 年、安定型で約 13.8 年と推計される。

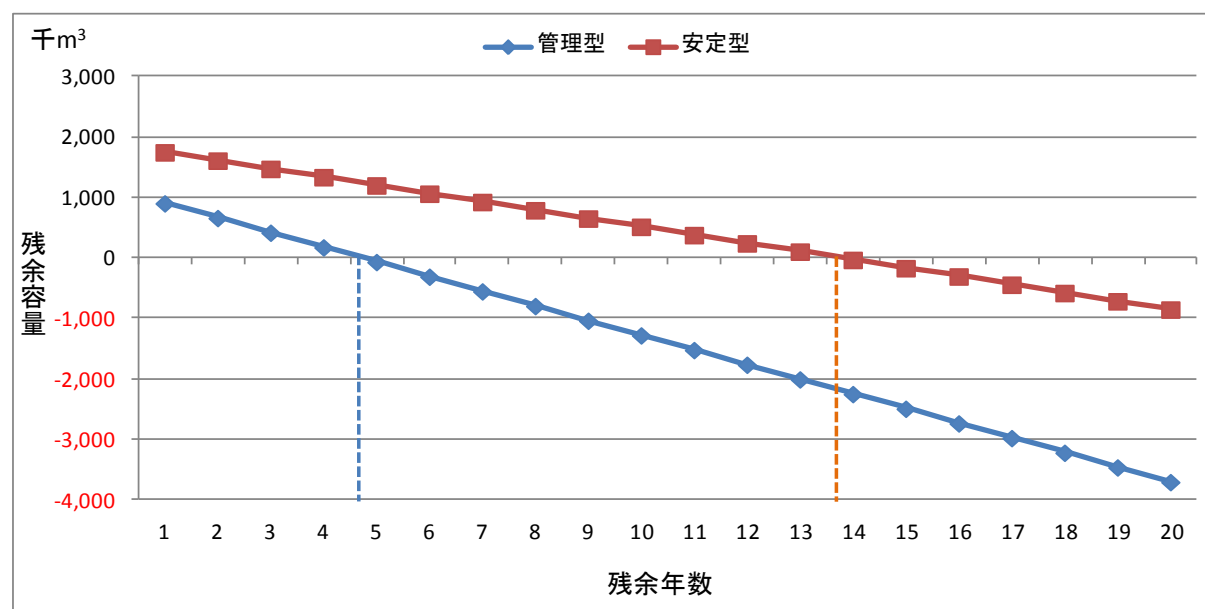


図 5-6 最終処分場の残余年数の推計（目標値基準）

第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析

産業廃棄物管理交付等状況報告(廃棄物処理法第12条の3第7項)について、解析を行った結果は、以下のとおりである。

6.1 データ整備等の内容

1 電子データベース化

産業廃棄物管理票交付等状況報告書について、以下の電子データベース化を行った。

なお、電子マニフェスト登録等状況報告書のデータについても、共通項目のレイアウトに変更し、情報を統合した。

<台帳>	
①報告者氏名 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④業種コード	
<廃棄物データ>	
⑤行番号 ⑥産業廃棄物の種類コード ⑦排出量 ⑧管理票の交付枚数	
⑨運搬受託者の許可番号 ⑩運搬受託者の氏名又は名称 ⑪運搬先のコード	
⑫処分受託者の許可番号 ⑬処分コード ⑭処分受託者の氏名又は名称	
⑮処分場所のコード	

2 各種のデータ整備

6.1.1 で作成した統合データに対して、区間委託の制御、単位、種類コード、地域コード等の確認、整備を行った。

3 報告者及び事業場の整理

本解析においては、報告者台帳作成に当たって同一事業場等のマッチング作業を行うために、3つの項目から報告者を識別するコード(ID)化を行った。

本報告書で用いた用語		報告者及び事業場の整理
報告書件数		受理した報告書の件数。ただし、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告書については、電子マニフェスト交付単位(1件)で電子化されているため、報告者名称、種類、事業場名称、事業場住所が同一のものは1報告書として集計した。
報告者	報告企業(ID1)	報告者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。
	報告事業者(ID2)	ID1を更に、「本店、支店、営業所」等の名称、「報告者の住所(市町村)」でマッチングしたもの
	報告事業場(ID3)	ID2を更に、事業場名称、「事業場の住所(市町村)」でマッチングしたもの

6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況は、表 6-1、表 6-2 のとおりである。

平成 27 年度実績として福島県(郡山市、いわき市を含む)に報告された産業廃棄物管理票交付状況報告書に基づく報告件数は 7,878 件、産業廃棄物管理票交付枚数(以下、「交付枚数」という)は 464,617 枚、排出量は 2,233 千トンとなっている。また、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告件数は 8,252 件、交付枚数 222,392 枚、排出量は 2,202 千トンとなっており、両者のあわせた(以下、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」という)報告件数が 16,130 件、交付枚数が 687,009 枚、排出量が 4,435 千トンとなっている。

また、本解析にて整理した報告者及び事業場数では、報告企業数(ID1)が 6,037 件、報告事業者数(ID2)が 6,308 件、報告事業場数が 15,789 件であった。(表 6-1)

電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく交付枚数は増加している。(表 6-2)

表 6-1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

		報告書件数	報告企業数 (ID1)	報告事業者数 (ID2)	報告事業場数 (ID3)	産業廃棄物 管理票 交付枚数	排出量 (t)
福島県	産業廃棄物管理票交付状況報告書	5,050	2,780	2,951	5,008	283,774	1,482,293
	電子マニフェスト登録等状況報告書	4,881	802	834	4,736	149,904	1,645,238
	(2市除く)	9,931	3,582	3,785	9,744	433,678	3,127,532
郡山市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,368	919	943	1,347	72,264	186,665
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,628	369	377	1,582	27,174	61,965
		2,996	1,288	1,320	2,929	99,438	248,630
いわき市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,460	867	899	1,451	108,579	564,009
	電子マニフェスト登録等状況報告書	1,743	300	304	1,665	45,314	494,938
		3,203	1,167	1,203	3,116	153,893	1,058,947
合計	産業廃棄物管理票交付状況報告書	7,878	4,566	4,793	7,806	464,617	2,232,967
	電子マニフェスト登録等状況報告書	8,252	1,471	1,515	7,983	222,392	2,202,142
		16,130	6,037	6,308	15,789	687,009	4,435,109

表 6-2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況の推移

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
交付枚数	産業廃棄物管理票交付状況報告書	405,768	472,736	491,927	480,671	473,438	464,617
	電子マニフェスト登録等状況報告書	58,657	76,803	107,276	140,757	184,102	222,392
	計	464,425	549,539	599,203	621,428	657,540	687,009
排出量 (千t)	産業廃棄物管理票交付状況報告書	3,777	2,483	2,685	4,272	3,488	2,233
	電子マニフェスト登録等状況報告書	446	326	1,157	1,233	1,719	2,202
	計	4,223	2,809	3,842	5,505	5,207	4,435

2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出状況

種類別の産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数は、表 6-3、表 6-4 のとおりである。

産業廃棄物の種類別に排出量をみると、ばいじんが 1,846 千トンで最も多く、以下、がれき類が 1,298 千トン、汚泥が 344 千トン、廃プラスチック類が 184 千トン等となっている。

(表 6-3)

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 2,026 千トンで最も多く、以下、建設業が 1,458 千トン、製造業 639 千トン等となっている。(表 6-4)

なお、産業廃棄物管理票交付等状況報告書データには、電気業から排出されるばいじんのうち、自社処分場へ運搬された運搬実績及び船積貯槽へ運搬された運搬実績が含まれている。

また、県内の中間処理業者における中間処理後の残さ物の他社への委託処理(2次マニフェスト)による交付分が含まれている。

表 6-3 種類別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)				交付枚数			
	計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市
計	4,435	3,128	249	1,059	687,009	433,678	99,438	153,893
燃え殻	162	112	2	48	10,780	7,182	618	2,980
汚泥	344	163	31	150	37,892	19,843	4,570	13,479
廃油	39	18	6	15	32,962	20,505	6,708	5,749
廃酸	13	6	2	5	5,056	2,976	941	1,139
廃アルカリ	39	28	3	7	7,764	5,389	1,145	1,230
廃プラスチック類	184	140	22	22	134,138	89,097	23,121	21,920
紙くず	6	4	1	1	13,100	7,749	2,691	2,660
木くず	149	95	12	42	61,457	36,644	6,936	17,877
繊維くず	1	1	0	0	1,709	929	289	491
動植物性残さ	12	6	5	1	5,314	2,296	2,668	350
動植系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	55	43	1	11
金属くず	36	18	13	5	22,796	11,800	6,429	4,567
ガラス・陶磁器くず	78	45	14	18	42,514	26,019	8,705	7,790
鉱さい	136	112	2	22	11,533	9,517	206	1,810
がれき類	1,298	915	131	253	210,728	143,133	22,842	44,753
動物のふん尿	2	2	0	0	476	476	0	0
動物の死体	0	0	0	0	135	117	6	12
ばいじん	1,846	1,386	0	459	25,445	11,239	4	14,202
コンクリート固化物	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	91	77	5	9	63,141	38,721	11,558	12,862
感染性廃棄物	45	43	1	1	27,794	17,372	5,827	4,595
混合廃棄物等	46	33	4	8	35,347	21,349	5,731	8,267

表 6-4 業種別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)				交付枚数			
	計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市	計	福島県 (2市除く)	郡山市	いわき市
計	4,435	3,128	249	1,059	687,009	433,678	99,438	153,893
農業・林業	3	3	0	1	878	734	8	136
漁業	0	0			18	18		
鉱業	1	1	0	0	523	401	111	11
建設業	1,458	1,012	155	292	332,868	217,120	44,158	71,590
製造業	639	368	43	228	110,591	66,413	13,411	30,767
電気・ガス・水道業	2,026	1,535	12	480	40,615	23,391	1,313	15,911
情報通信業	7	4	2	2	2,549	1,596	418	535
運輸・郵便業	6	2	4	1	5,460	2,556	2,357	547
卸・小売業	40	17	13	10	70,309	47,059	11,678	11,572
金融・保険業	0	0	0	0	138	100	21	17
不動産業・物品賃貸業	5	4	1	0	2,386	1,383	725	278
専門サービス業	0	0	0	0	1,383	718	427	238
宿泊業・飲食サービス業	2	1	1	0	7,502	4,550	1,703	1,249
生活関連サービス業	2	1	0	0	1,515	872	201	442
教育・学習支援業	2	1	0	0	781	484	185	112
医療・福祉業	69	66	1	1	56,947	37,431	11,775	7,741
複合サービス業	0	0	0	0	966	687	26	253
サービス業	173	111	17	45	50,860	27,603	10,836	12,421
公務	1	1	0	0	620	488	59	73
その他	0	0	0		100	74	26	

6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成

産業廃棄物の処分業者、収集運搬業者の平成 27 年度実績データから、委託者（排出事業者）を整理し、以下のとおり「産業廃棄物管理交付等状況報告」（廃棄物処理法第 12 条の 3 第 6 項）の対象となる事業者の台帳を作成した。

また、産業廃棄物管理交付等状況報告書で作成した台帳同様(6.1)に、3 つの項目から排出者を識別するコード(ID)化を行った。

表 6-5 排出者及び事業場の整理方法

本報告書で用いた用語		排出者及び事業場の整理
排出者	排出企業(IDa)	委託者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。また、郡山市、いわき市は、単独で整理した。
	排出事業者(IDb)	IDa を更に、「本店、支店、営業所」等の名称でマッチングしたもの
	排出事業場(IDc)	IDb を更に、「委託者の住所(市町村)」でマッチングしたもの

このマッチングの作業により、産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数は 35,912 件であり地域別の対象者数は、表 6-6 のとおりである。なお、このうち産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データにおいて、詳細な住所が記載されていないものが 258 件あった。

表 6-6 産業廃棄物の処分業者・収集運搬実績から整理した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数

	排出企業数 (Ida)	排出事業者数 (IDB)	排出事業場数 (IDC)
福島県(2市除く)	16,443	18,011	24,003
県北地区			8,405
県中地区			3,548
県南地区			3,556
会津地区			4,705
南会津地区			611
相双地区			2,920
詳細不明			258
郡山市	4,748	5,147	5,147
いわき市	6,207	6,762	6,762
合計	27,398	29,920	35,912

*1:IDa、IDb は、事業場住所を考慮しないため地区別の内訳は非表示とした。

*2:郡山市、いわき市は IDa の整理時点で同市を分離しているため、IDb と IDC は同数となる。

作成した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者は、別添の CD-ROM に格納した。なお、この報告対象者リストのイメージは、表 6-7 のとおりであり、対象者の地区、市町村コード、名称で構成される。

表 6-7 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストのイメージ

(IDa)	(IDb)	(IDc)	地区	市町村CD	排出事業場名称
500001	01	001	T1: 県北	071111	〇〇〇〇(株)〇〇工場
500001	02	001	T1: 県北	071111	〇〇〇〇(株)△△工場

参考データ

統計表1 産業廃棄物の排出量〔平成27年度〕

業種	排出量(単位:千t/年)																								
	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性廃棄物	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	磁さい	がれき類	ばいじん	13号廃棄物	動物のふん尿	動物の死体	その他	燃焼性廃棄物	混合廃棄物	その他
合計	7,936	107	3,605	32	27	67	160	5	147	1	16	0	38	153	124	1,853	1,534	0	6	2	58	5	27	26	0
農業、林業	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
林業	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
林業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業	278	0	278	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	2,173	2	63	1	0	1	30	3	143	1	16	0	18	33	0	1,853	0	0	0	0	25	0	17	8	0
製造業計	2,732	7	2,260	19	22	55	89	2	4	1	14	0	9	89	116	0	30	0	0	0	15	0	1	15	0
食料品	44	0	21	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲料・飼料	11	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木材	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルプ・紙	1,429	5	1,380	0	0	0	37	1	1	1	0	0	0	0	2	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷	12	1	0	2	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学	785	0	743	10	6	23	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム	7	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	84	0	17	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄鋼	20	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非鉄金属	49	1	43	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属	16	13	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
はん用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務用機器	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品	60	0	39	1	7	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器	22	4	0	2	12	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送用機器	103	0	4	1	0	1	1	0	0	0	0	0	6	0	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他製造業	76	0	9	2	1	3	27	0	0	0	0	0	1	5	12	7	0	0	0	0	9	1	9	0	0
電気・ガス・水道業	2,577	98	960	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	4	1,504	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気業	1,642	97	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	4	1,504	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水道業	66	0	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工業用水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業	869	0	868	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信業	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業、郵便業	6	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売業、小売業	7	0	1	1	0	0	4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金融業、保険業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産業、賃貸業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊業、飲食業	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活サービス業	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育、学習支援業	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療、福祉業	9	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業	126	0	34	9	4	10	31	0	0	0	0	0	10	11	3	0	0	0	0	2	10	0	9	1	0
公務	7	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

統計表2 産業廃棄物の発生及び処理状況〔種類別〕〔平成27年度〕(その1)

(単位:千t/年)

区 分 種 類	発生量		有償物量		保管量		排出量		自己中間処理後量				自己中間処理量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量					
	(A) (B+Z1+C)	(B)	(Z1)	(G) (D+G)	(D)	(T1)	(自己中間処理後量)		(自己中間処理後の処理内訳)		(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(Z2)	(G)	(自己未処理の処理内訳)		(G1)	(G2)	(G3)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)				
							うち焼却 量	汚泥脱水 減量	再生利用 量	自己最終 処分量							委託処理 量	保管量						再生利用 量	自己最終 処分量	委託処理 量	県内	県外
合計	8,207	266	5	7,936	3,689	250	403	222	70	107	3	4,247	29	177	4,042	4,396	247	247										
燃え殻	153	45	1	107	1	1	0	0	0	0	0	106	14	92	106	14	14	14							14			
汚泥	3,772	165	2	3,605	3,459	186	265	94	69	98	3	147	7	140	314	76	76								76			
廃油	34	2	0	32	3	3	0	0	0	0	0	29	2	28	28	2												
廃酸	28	1		27	13	2	0	0	0	0	0	14	0	13	14	0												
廃アルカリ	67			67	35	14	1	0	1	1	1	32	1	31	32	1												
廃プラスチック類	164	4	0	160	47	43	6	5	1	1	1	113	0	113	115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
紙くず	10	5		5	1	0	1	1	0	0	0	4		4	4													
木くず	147	0		147	8	1	7	7	0	0	0	139		139	139													
繊維くず	1			1	0	0	0	0	0	0	0	1		1	1													
動植物性廃さ	16	0		16								16		16	16													
動物系固形不要物																												
ゴムくず	0			0								0		0	0													
金属くず	53	14	0	38	1	0	1	1	0	0	0	37	5	32	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ガラス陶磁器くず	153	0	0	153	6	1	6	5	1	1	1	147	2	145	147	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
鉱さい	131	7		124	19		19	15	4	4	4	105		105	110													
がれき類	1,856	3	1	1,853	95		95	94	1	1	1	1,758		1,756	1,759	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
ばいじん	1,556	20	2	1,534	0		0	0	0	0	0	1,533	18	1,360	1,515	155	155	155	155	155	155	155	155	155	155			
13号廃棄物																												
動物のふん尿	6			6								6		6	6													
動物の死体	2			2								2		2	2													
その他	58	0	0	58	0	0	0	0	0	0	0	58		58	58													
感染性廃棄物	5			5								5		5	5													
混合廃棄物	53	0	0	53	0	0	0	0	0	0	0	53		53	53													

統計表2 産業廃棄物の発生及び処理状況〔種類別〕〔平成27年度〕(その2) (単位:千t/年)

種類	区分委託処理量		委託処理量の内訳		委託中間処理量		委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		(処理主体の内訳)				
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E+G+M1)	(O) (F+O+M2)	(Q1)	(Q3)					
			県内	県外		域内	域外		うち焼却量	うち焼却量					保管量 (Z3)	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		
																		事業者	処理業者
合計	4,149	247	244	4	3,902	2,322	86	1,580	1,377	3,716	1	3,639	76	570	247	323			
燃え殻	92	22	22	0	70	15	0	55	50	70	0	69	0	37	14	23			
汚泥	238	57	54	2	181	100	15	82	37	111	1	96	14	146	76	70			
廃油	28				28	13	9	14	5	13	0	13	0	0		0			
廃酸	14				14	3	2	11	2	1	0	1	0	0		0			
廃アルカリ	32				32	13	11	19	4	3	0	2	1	4	1	1			
廃プラスチック類	115	11	11	0	104	86	13	18	3	90	0	76	14	81	24	24			
紙くず	4	0	0	0	4	3	1	0	0	2	0	2	1	3	1	1			
木くず	139	1	0	1	138	117	12	21	6	121	0	117	4	123	5	5			
繊維くず	1				1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0			
動植物性残さ	16	1	1	1	15	12	1	3	0	15	0	14	0	14	1	1			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金属くず	32	1	1		31	27	1	4	0	31	0	30	0	37	1	0			
ガラス陶磁器くず	146	18	17	1	128	121	0	7	1	128	0	117	11	123	30	29			
鉱さい	110	6	6		104	17	9	88	63	104	0	104	0	119	6	6			
がれき類	1,758	33	33	0	1,724	1,718	0	6	0	1,724	0	1,709	15	1,803	49	48			
ばいじん	1,361	97	97		1,263	38	0	1,225	1,182	1,263	0	1,263	0	1,282	252	155			
13号廃棄物																			
動物のふん尿	6				6	6				6		6		6					
動物の死体	2				2			2	1	1		1	0	1	0	0			
その他	58	1	1	0	56	31	10	25	21	33		17	16	17	17	17			
感染性廃棄物	5				5	4	4	1	0	1		0	1	0	1	1			
混合廃棄物	53	1	1	0	52	27	6	25	21	32		17	15	17	16	16			

統計表3 産業廃棄物の発生及び処理状況〔業種別〕〔平成27年度〕(その1)

業種	発生量 (A) (B+Z1+C)	有償物量 (B)	保管量 (Z1)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
					うち焼却 量 (D)	汚泥脱水 減量 (T1)	(自己中間処理後量)		(自己未処理量)		(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(H (I+K+J))	(I) (E2+G2)	県内	県外		
							再生利用 量 (E)	自己最終 処分量 (E2)	委託処 理量 (E3)	自己最終 処分量 (E2)									再生利用 量 (G)	自己未処理の処理内訳)
合計	8,207	266	5	7,936	3,689	250	3,057	403	222	70	107	3	4,247	29	177	4,042	4,396	247	247	
農業・林業	8			8									8			8	8			
漁業	0			0									0			0	0			
鉱業	278			278	278		184	94	94				0			0	0			
建設業	2,175	0	1	2,173	107	1	0	106	103		3		2,065		2	2,064	2,068	2	2	
製造業	2,764	32	0	2,732	2,365	198	2,029	145	24	70	51		367	10	0	357	478	70	70	
電気・ガス・水道業	2,810	230	3	2,577	929	44	841	54	0		51	3	1,648	18	175	1,454	1,681	175	175	
情報通信業	7	4		3									3			3	3			
運輸・郵便業	6			6									6			6	6			
卸・小売業	7			7									7			7	7			
金融・保険業	2			2									2			2	2			
不動産業・物品賃貸業	1			1									1			1	1			
学術研究・技術サービス業	0			0									0			0	0			
宿泊業・飲食サービス業	2			2									2			2	2			
生活関連サービス業	3			3	3		3	0			0		0			0	1			
教育・学習支援業	2			2									2			2	2			
医療・福祉業	9			9	0	0		0			0		9			9	9			
複合サービス業	0			0									0			0	0			
サービス業	126			126	7	7		3	1		2		119	0	0	119	121	0	0	
公務	7			7									7			7	7	0	0	

(単位:千t/年)

統計表3 産業廃棄物の発生及び処理状況[業種別][平成27年度](その2)

業種	委託中間処理量 (単位: 千t/年)																
	委託処理量			委託中間処理量			委託中間処理後量			再生利用量			最終処分量				
	(K) (O+L)		(O)	(L)		(M)	(Z3)		(M1)	(R) (E+G+H+I)	(Q) (H+O+M2)		(G3)				
	(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)				
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	うち焼却量	うち焼却量	再生利用量	最終処分量	事業者	処理業者	事業者	処理業者			
合計	4,149	247	244	4	3,902	2,322	86	1,580	1,377	3,716	1	3,639	76	3,889	570	247	323
農業・林業	8	0	0	0	8	8	0	0	0	8	0	8	0	8	0	0	0
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	0	0
建設業	2,067	67	65	1	2,000	1,958	19	42	14	1,953	0	1,910	43	2,014	111	2	110
製造業	408	25	24	1	383	192	37	191	93	315	0	302	13	336	108	70	38
電気・ガス・水道業	1,505	140	140	0	1,365	71	3	1,294	1,261	1,338	0	1,333	5	1,351	320	175	145
情報通信業	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	0	3	0	3	0	0	0
運輸・郵便業	6	1	1	0	5	4	0	1	0	5	0	4	0	4	1	0	1
卸・小売業	7	1	0	0	7	3	0	4	1	6	0	6	0	6	1	0	1
金融・保険業	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
不動産業・物品賃貸業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
学術研究・技術サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊業・飲食サービス業	2	0	0	0	2	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	0	0
生活関連サービス業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・学習支援業	2	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0
医療・福祉業	9	0	0	0	9	7	5	2	0	4	0	2	2	2	2	0	2
複合サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業	121	13	12	1	107	64	16	44	8	76	0	66	10	67	23	0	23
公務	7	0	0	0	7	6	5	0	0	3	0	1	2	1	2	0	2

